

MEDIAEDGE

MEDIAEDGE

マルチデバイスサーバー

操作マニュアル

2017 年 8 月 29 日

第 2.0 版

Copyright (C) 2016-2017 MEDIAEDGE Corporation

改訂履歴

版	年月日	改訂内容
1.0	2016/10/26	初版
2.0	2017/8/29	ソフトウェアバージョンアップにより大幅改定

目次

I. はじめに.....	1
I-1. 本製品を使用される際の注意事項.....	2
■ 問い合わせ先	2
■ 当社ホームページについて	2
■ 注意事項.....	2
■ 個人情報の取り扱いについて	3
■ 商標について	3
■ 警告.....	4
I-2. 留意事項.....	5
■ 表記について	5
■ ご注意.....	5
■ 利用許諾について.....	6
II. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーについて	7
II-1. 機能の概要.....	8
■ II-1-1. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能概要.....	8
■ II-1-2. 対応する WEB ブラウザ	9
III. クイックスタート	10
III-1. システムの初期設定	11
III-2. WEB アプリケーションにログインする.....	14
III-3. VOD 配信を行う	15
III-4. ライブ配信を行う	16
■ III-4-1. IP カメラまたは MEDIAEDGE LEB Pro2 などの RTSP 対応機器の場合	17
■ III-4-2. MEDIAEDGE-CLEB などの RTMP 対応機器の場合	18
IV. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能について	20
IV-1. ログイン.....	21
■ IV-1-1. パスワード入力を連続して間違えた場合	21
■ IV-1-2. 初期パスワードの変更.....	22
■ IV-1-3. ログアウト	23
■ IV-1-4. パスワードを忘れてしまった場合	23
IV-2. ページ構成	24
IV-3. ユーザー管理	28
■ IV-3-1. ユーザーの追加	28
■ IV-3-2. ユーザーの編集	30

■ IV-3-3. ユーザーのアドレス制限の編集.....	32
■ IV-3-4. ユーザーの削除	33
■ IV-3-5. ユーザーグループの追加	34
■ IV-3-6. ユーザーグループの編集	38
■ IV-3-7. ユーザーグループのアドレス制限の編集	39
■ IV-3-8. LDAP 認証の設定	40
■ IV-3-9. LDAP ユーザーの紐づけの設定.....	43
■ IV-3-10. デフォルトの認証方式の変更.....	46
IV-4. コンテンツ管理	48
■ IV-4-1. ライブコンテンツの登録	48
■ IV-4-2. ライブコンテンツの視聴	53
■ IV-4-3. ライブコンテンツの録画	55
■ IV-4-4. ライブコンテンツをトランスコードして配信・録画(オプション).....	57
■ IV-4-5. VOD コンテンツの登録	58
■ IV-4-6. コンテンツの詳細.....	60
■ IV-4-7. コンテンツのカテゴリ	61
■ IV-4-8. コンテンツの詳細情報	67
■ IV-4-9. コンテンツの検索・ソート	69
■ IV-4-10. コンテンツの削除.....	74
■ IV-4-11. コンテンツの編集.....	75
■ IV-4-12. コンテンツの属性の編集	77
■ IV-4-13. 添付ファイル	78
■ IV-4-14. サムネイル	79
■ IV-4-15. 公開.....	80
■ IV-4-16. 編集権限	83
■ IV-4-17. 一括処理	85
IV-5. 属性管理.....	87
■ IV-5-1. 属性について	88
■ IV-5-2. 属性の種類	89
■ IV-5-3. 属性の追加	90
■ IV-5-4. 属性の編集	92
■ IV-5-5. 属性の削除	95
■ IV-5-6. 属性表示色の編集.....	96
IV-6. コンテンツの視聴とダウンロード.....	98

■ IV-6-1. コンテンツリストの表示	98
■ IV-6-2. コンテンツの視聴（1 件再生）	99
■ IV-6-3. コンテンツの視聴（複数再生）	100
■ IV-6-4. コンテンツの視聴（全件再生）	101
■ IV-6-5. コンテンツ又は添付ファイルのダウンロード	102
■ IV-6-6. 利用期間外のコンテンツ	103
IV-7. システム	104
■ IV-7-1. 状態	104
■ IV-7-2. 設定	106
■ IV-7-3. 操作履歴	108
■ IV-7-4. イベントログ	109
■ IV-7-5. LTO	110
■ IV-7-6. 検索設定	112
IV-8. LTO へのアーカイブ	114
■ IV-8-1. 期間から書き出すコンテンツを抽出する	114
■ IV-8-2. LTO テープへコンテンツを書き出す	116
■ IV-8-3. LTO テープからコンテンツを読み出す	118
V. Appendix	120
V-1. MEDIAEDGE サーバーの仕様	121
V-2. 動作確認済みネットワークカメラ	123

I. はじめに

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーのご使用前に確認していただきたい事項や、
ご注意いただきたい事項について説明します。

I-1. 本製品を使用される際の注意事項

■ 問い合わせ先

ここでは、本製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマーサポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社
カスタマーサポート
TEL : 078-265-1552
FAX : 078-265-1550
Mail : support@mediaedge.co.jp
(月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00 ※土日祝および当社指定休日を除く)

■ 当社ホームページについて

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーを始めとする当社の最新情報をホームページ (<http://www.mediaedge.co.jp>) にて発信しています。

最新のドライバー、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

■ 注意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。

■ 個人情報の取り扱いについて

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

- ご利用の当社製品のサポートの実施

当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施。

※調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがあります。

- 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認。
- ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供。
- 懸賞企画等で当選されたお客様への賞品の発送。

事前にお客様のご了承を得た上で、上記以外の目的で使用させていただく場合があります。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

お客様の個人情報の取扱いに関するお問い合わせ、ご意見は <http://www.mediaedge.co.jp> までご連絡ください。

■ 商標について

- ① MEDIAEDGE は、メディアエッジ株式会社の登録商標です。
- ② Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- ③ その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

■ 警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。

こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

お客様が著作物に該当するフォントを使用して文書等の映像配信を行う場合は、事前に著作権者から許諾を受けたライセンスの範囲に基づき、ご使用形態がライセンス条項に抵触しないことを確認のうえ、本製品をご使用ください。

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。

キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

I-2. 留意事項

■ 表記について

- 本書は MEDIAEDGE マルチデバイスサーバー バージョン 2.0.0 での操作方法を説明しています。
- 本書の説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はコンピュータの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載のない操作については、一般的なコンピュータの操作と同じように行ってください。
- 実際に使用される画面上の表示と説明文中の図および画面写真が異なる場合があります。

画面写真は Windows10 上の Google Chrome ブラウザで開発中の製品を使用しています。

■ ご注意

- ① 本製品の構成や仕様は将来予告なしに変更することがあります。
- ② 本製品は構成について万全を期して開発しておりますが、万一ご不審な点や不備等お気づきの点がございましたら、MEDIAEDGE 株式会社カスタマーサポートまでご連絡ください。
- ③ 運用した結果については、②項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ④ ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を何ら負わないものとします。
- ⑤ 製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。
- ⑥ 本製品、ならびに本製品に付属するマニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- ⑦ 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。

■ 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部に GNU 一般公衆利用許諾（GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ）または GNU 劣等一般公衆利用許諾（GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ）に該当するフリーソフトウェアを利用しています。

GPL/LGPL 該当のソフトウェアのリスト、ソースコードの請求、および本件に関する質問は当社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

II. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーについて

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの概要について説明します。

II-1. 機能の概要

■ II-1-1. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能概要

本製品は WEB ベースのアプリケーションで構成されています。 WEB ブラウザで管理画面を表示し下記機能の操作が可能です。

- ユーザーアカウント情報によるログイン機能
- ユーザー管理（登録、編集、削除）
- 映像ファイルのアップロード・登録／削除
- 登録した映像ファイルの検索
- 登録した映像ファイルの視聴（VOD）
- 登録した映像ファイルの視聴・ダウンロード・削除などの各種操作の権限管理※1
- エンコードからのライブ映像を中継して視聴※2
- ライブ映像の録画※2
- 登録した映像ファイルを LTO テープへ書き出すアーカイブ機能※3
- 登録した映像ファイルのサイズやビットレートを変換するトランスコード機能

※1. 各ユーザーには異なる権限を与えることができ、コンテンツ視聴しかできないユーザーや全ての機能にアクセスできるユーザーも作ることができます。

そのためログインユーザーによってアクセスできる機能は異なります。

※2. ライブ映像配信・録画はオプションです。

※3. LTO アーカイブ機能はオプションです。

■ II-1-2. 対応する WEB ブラウザ

本製品の操作・映像の視聴には以下の WEB ブラウザの使用をお勧めします。

- Microsoft Internet Explorer 11 以降 ※1 ※2
- Microsoft Edge
- Google Chrome 41.0 以降
- Safari (iOS) 5.0 以降

※1. Adobe Flash Player の最新版がインストールされていること

※2. 互換表示モードは OFF となっていること

III. クイックスタート

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの初期設定を行い、VOD・ライブ配信を行うための最小限の手順を説明します。配信に関する個々の操作について詳しく知りたい場合は、各機能の説明ページをお読みください。

ここでは、基本操作の理解と動作の確認を行うため、配信サーバー上で使用するアカウントは admin（管理ユーザー）のみを使用します。本番の運用では適切な権限のユーザーを作成してご利用ください。

また、使用するインターフェースも配信用の 1 系統のみです。本番の環境では異なる構成の場合もありますが、その場合も同じように扱えますので適宜設定および読み替えてください。

IP アドレスの割り当てやホスト名などシステムの基本的な設定は出荷時点で行ってありますが、必要に応じて変更・調整してください。設定内容に関しては接続するネットワークの管理者にお問い合わせください。

システムのセキュリティに関しても同様に出荷時点で基本的な設定は行っていますが、運用形態によっては適切に変更・調整する必要があります。

注意事項にもある通り、これらの設定が不適切だった場合の運用結果については、当社はその責任を負わないものと致しますのでご了承ください。

III-1. システムの初期設定

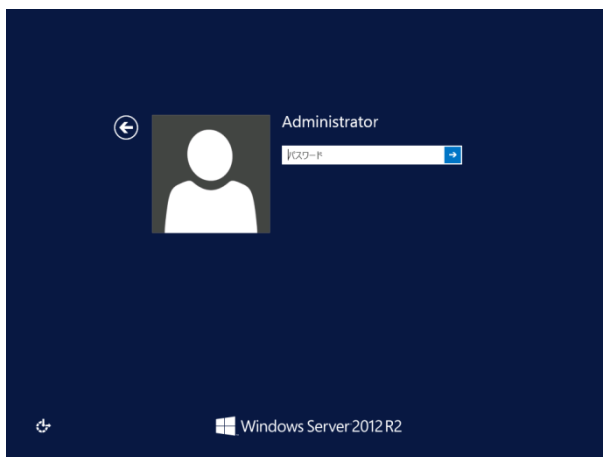
MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーを初期設定するには、以下のものを用意してください。

- 電源
- モニター

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーにモニター・キーボード(同梱)・マウス(同梱)を接続して、サーバー本体の電源を入れます。

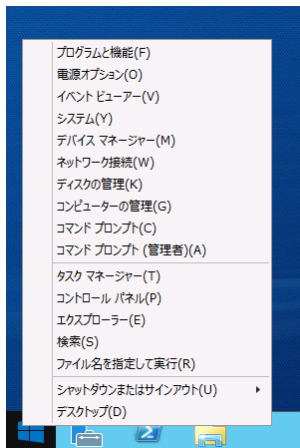


起動して、次の画面になったら、キーボードから **CTRL+ALT+DEL** を押してサインイン画面を出します。

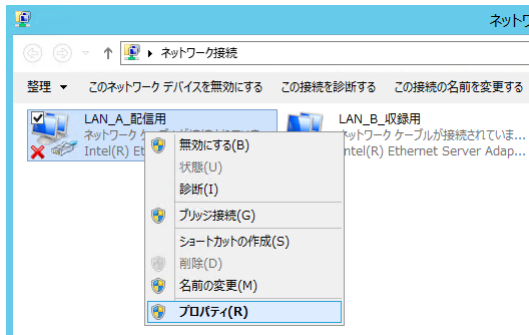


最初のログインは、パスワードに Mediaedge4 を指定してサインインします。

操作説明書

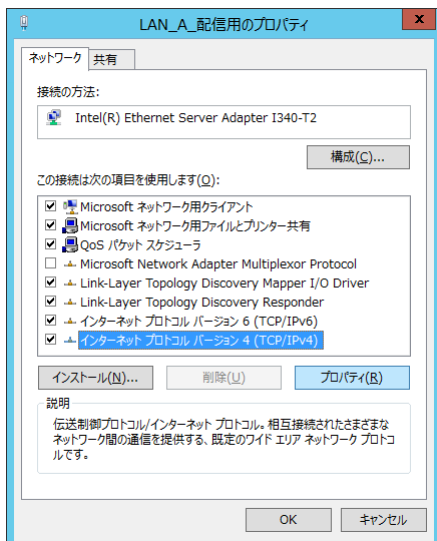


ログインしたら、スタートボタンを右クリックでメニューを出して、
[ネットワーク接続(W)] を選択します。

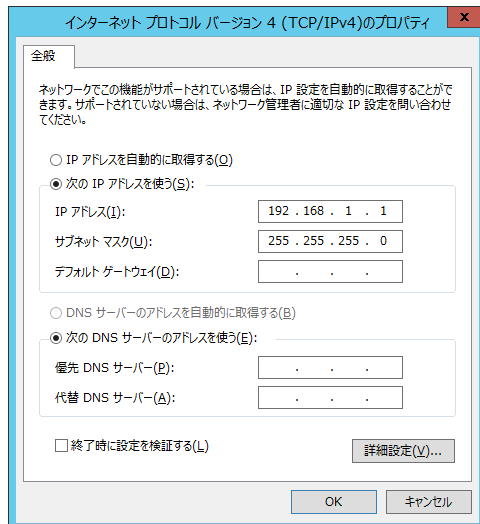


[ネットワーク接続] が開いたら、[LAN_A_配信]
を右クリックします。

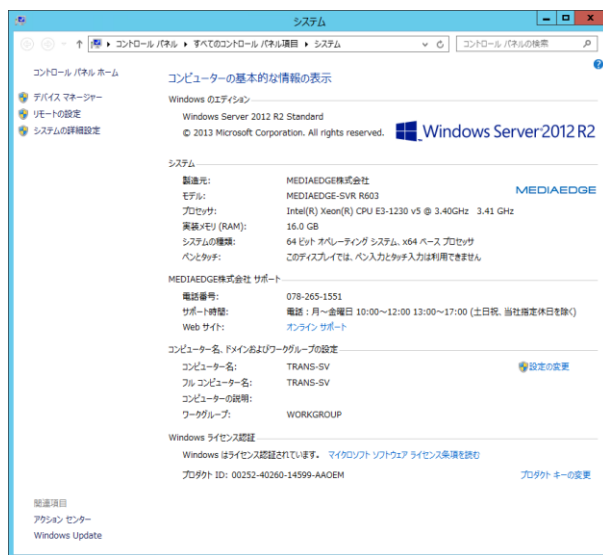
メニューが表示されたら、[プロパティ(R)] を選択
します。



プロパティ画面の [ネットワーク] タブで
[この接続は次の項目を使用します(O):] の中の
[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)] を
選んで、[プロパティ(R)] ボタンを押します。



〔全般〕 タブでこのインターフェースの IP アドレス (および DNS サーバー・ゲートウェイのアドレス)を設定してください。標準構成では、出荷時の状態でこのインターフェースに 192.168.1.1 の IP アドレスが設定されています。設定する IP アドレスの値については、接続するネットワークの管理者に確認してください。



このサーバーは標準構成では、出荷時のコンピュータ名として“MEDIAEDGE-SVR”が設定されています。この名前を変更する場合は〔スタート〕をマウス右クリックでメニューを出して〔システム(Y)〕を選択します。〔システム〕画面が出たら〔コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定〕の右側にある〔設定の変更〕をクリックします。

〔システムのプロパティ〕が表示されたら、〔コンピュータ名〕タブの中にある〔変更(C)…〕ボタンを押します。コンピュータ名および所属するグループの設定は、接続するネットワークの管理者に確認してください。この設定を変更した場合はサーバーの再起動が必要なので、システムの指示に従って再起動を行ってください。

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーにネットワークケーブルを接続していない場合は、この時点で接続してください。接続する端子は、筐体背面に表示されています。

以上で、システムの初期設定は完了です。

III-2. WEB アプリケーションにログインする

配信の操作は、WEB アプリケーションから行います。

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーで配信の操作を行うには、以下のものを用意してください。

- 配信管理用コンピュータ

本製品で対応する WEB ブラウザが動作すれば、OS やハードウェアは問いません。ネットワークを経由して MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーに接続する必要があります。

WEB アプリケーションへのログインは、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーに接続できるネットワークで WEB ブラウザから IP アドレス(<http://xxx.xxx.xxx.xxx/>)またはホスト名(<http://www.mediaedge-svr.mmds.local/>など)でアクセスします。ホスト名でアクセスする場合は名前解決ができる必要がありますので、不明な場合はネットワーク管理者にご確認ください。

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーに接続すると、ログイン画面が表示されるのでユーザ名 admin /パスワード Mediaedge4 (初期設定時)でログインしてください。

III-3. VOD 配信を行う

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーで VOD 配信を行います。
以下のものを用意してください。

- MP4 ファイル

解像度は任意、圧縮は H.264+AAC のもの

(詳細は、■ **IV-4-5 VOD コンテンツの登録** を参照ください)

メニューバーから [コンテンツ] を選んで、メニューから [アップロード] を選択してください。



ここで、[+追加] ボタンを押すとファイル選択ウィンドウが開くので、準備した MP4 ファイルを指定します。

すると、ファイルがアップロードされてプログレスバーが右端まで進んで 100%になったのち、しばらくすると [✓完了] ボタンが表示されます。これでコンテンツが登録できました。

登録されたコンテンツは、サーバーにアクセスしたブラウザでログインしたのち、[ホーム] ページに表示されるので、そこから再生することができます。



※システム設定 ([■ **IV-7-2 設定**]) により [全てのコンテンツ] が [ホーム] ページに表示されない場合があります。

III-4. ライブ配信を行う

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーでライブ配信を行います。
以下のものを用意してください。

- IP カメラまたはエンコーダ
(RTSP/RTP または RTMP 配信に対応した機器)

ライブ配信を行う方法は、配信元の機器のタイプによって2つに分かれます。

機器の種類 (RTSP/RTP・RTMP) により次ページ以降のいずれかの手順で登録ののち、[ホーム] ページのコンテンツ一覧から再生することができます。




■ III-4-1. IP カメラまたは MEDIAEDGE LEB Pro2 などの RTSP 対応機器の場合

メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [ライブの登録] のリンクからライブ登録ページに移動します。



[+ネットワークカメラ中継] ボタンを押します。



タイトルには適当な名前を指定します。

[ソース URL] にカメラまたはエンコーダ内の RTSP サーバーの URL を指定します。

ユーザー名とパスワードに機器のユーザー名・パスワードを指定します。

(指定する内容は機器の取扱説明書などをご確認ください)

RTP 転送モードは機器に合わせて設定ください (不明な場合は UDP を指定してください)。

■ III-4-2. MEDIAEDGE-CLEB などの RTMP 対応機器の場合

メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [ライブの登録] のリンクからライブ登録ページに移動します。



[+RTMP ライブ] ボタンを押します。

タイトルには適当な名前を指定します。

ストリーム名は適当な名前を指定します。配信する機器で指定がある場合はその値を設定してください。

パブリッシュ URL が表示されるので、内容を確認してください。

次に配信機器側で、先の手順で表示されたパブリッシュ URL を配信先の URL に設定してください。以下は、MEDIAEDGE-CLEB での設定例です。

MEDIAEDGE-CLEB 状態 ログ 設定 ユーザーアカウント エンコード ▾ 電源 ▾

出力ストリーム 1

出力先

URI

以下のパラメーターをファイル名に使用できます。
%t : 開始日時を挿入します。ex) 20150501T151000
%d : インデックスを挿入します。分割時間>0の時のみ有効です。

コンテナ

分割時間
(0 to 1440min, 0:no split)

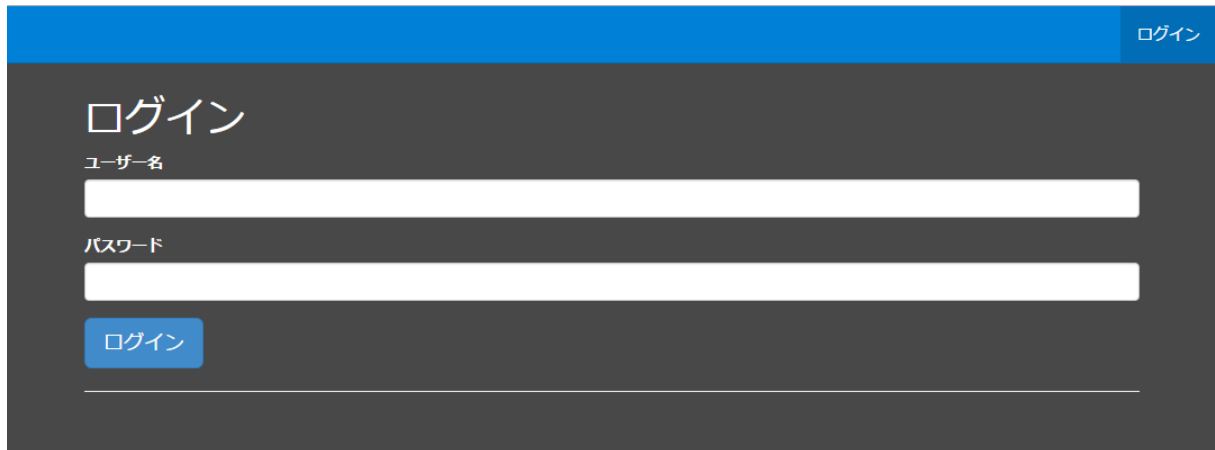
機器によっては配信先 URL とストリーム名で指定する場合もあるので、その場合はパブリッシュ URL からストリーム名を除いたものを指定するなど、適宜調整してください。

IV. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能について

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能について説明します。

IV-1. ログイン

WEB ブラウザからサーバーの IP アドレスまたはホスト名にアクセスすると次のようにログインページが表示されます。



■ 「ログイン」 ページ

初期状態では、admin というユーザーのみが存在しており、パスワードは Mediaege4 となっています。この admin ユーザーはシステムの全権限を有するスーパーユーザーで、このユーザーを削除することはできません。管理者はまず、このユーザーのパスワードを初期値から変更することを推奨します。

※ログイン状態は 5 時間継続され、その時間を経過して操作した場合は再びログイン画面に戻ります。

■ IV-1-1. パスワード入力を連続して間違えた場合

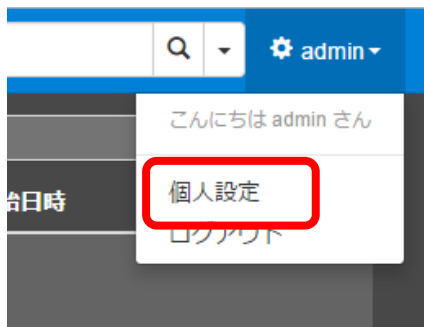
パスワード入力を 10 回連続で間違えた場合は、10 秒間そのアカウントはロックされ、正しいパスワードを入力したとしてもログインできなくなります。

■ IV-1-2. 初期パスワードの変更

初めてログインしたユーザーは、まずパスワードを変更することを推奨します。



admin ユーザーでログインするとこのような画面が表示されます。



ここで、右上の「admin」と表示されたリンクをクリックするとメニューが開きます。その中の「個人設定」を選択することでパスワードを変更できます。

パスワードの変更では、まず現在のパスワードを入力します。

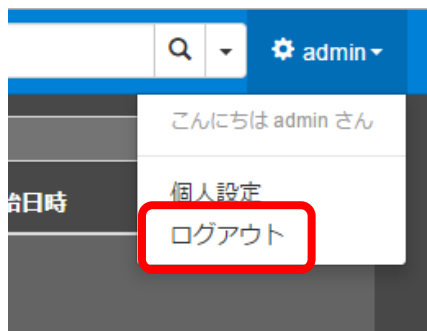
次に、新しいパスワードを入力します。

さらに、もう一度新しいパスワードを入力します。

※パスワードは3文字以上である必要があります。

以上で、パスワードの変更が完了します。

■ IV-1-3. ログアウト



ログアウトする場合は右上のユーザー名が表示されたリンクから「ログアウト」を選択します。

■ 「アカウント管理」メニュー

■ IV-1-4. パスワードを忘れてしまった場合

管理権限を持ったユーザーであれば他のユーザーのパスワードを設定し直すことができます。パスワードを忘れてしまった場合は管理者に連絡して再設定してもらうことになります。パスワードリセットについての詳細は「**■ IV-3-2 ユーザーの編集**」の章で説明します。

admin ユーザーのパスワードはリセットする手段が無いため紛失しないようご注意ください。

IV-2. ページ構成

本システムのページ一覧とそれぞれのページの概要を説明します。

各ページの移動は上部のメニューバーから行えます。



■ [ホーム] メニュー



■ [ユーザー] メニュー



■ [コンテンツ] メニュー

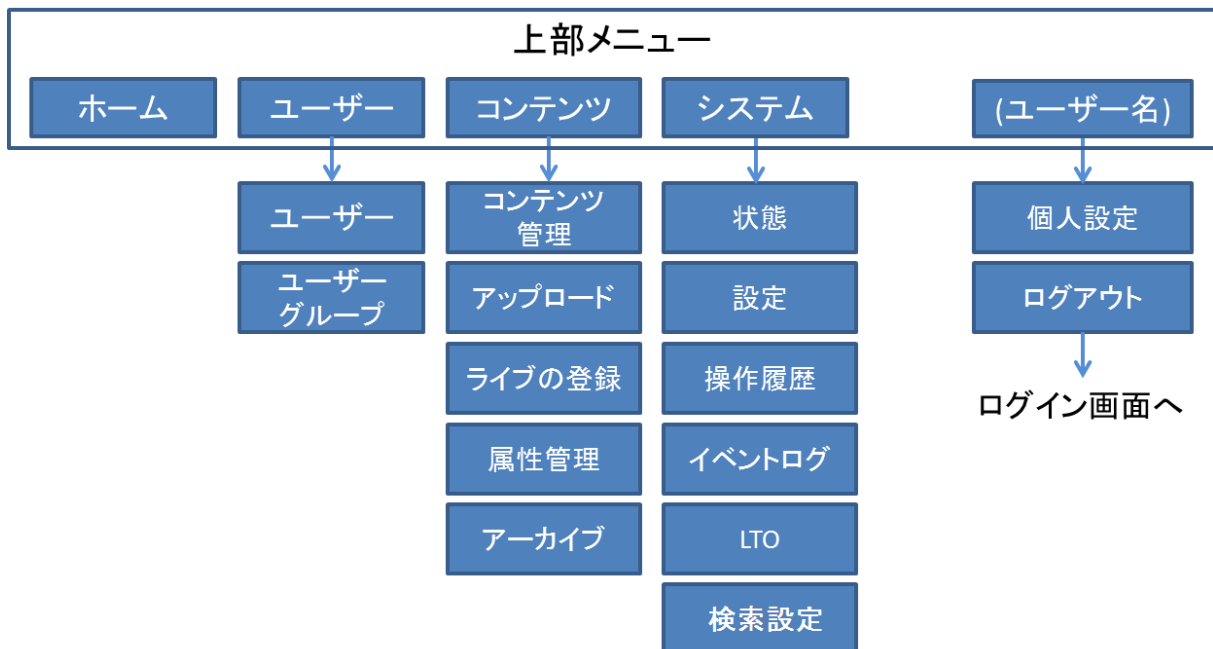


■ [システム] メニュー



■ [アカウント管理] メニュー

メニューの構成は次のようになっています。ユーザーに設定された権限によってメニューに表示されるリンクは異なります。admin ユーザーのように全権限を持っていれば下記の全ページにアクセスすることができます。また、オプション機能に関するリンクは構成によっては表示されません。



各メニュー項目の概要は次の通りです。

メニューバー項目	サブメニュー項目	設定項目の内容
ホーム	(なし)	コンテンツの視聴を行うためのページです。コンテンツには視聴制限を行うことができるため、ログインユーザーによって視聴できるコンテンツは異なります。
ユーザー	ユーザー	ユーザーアカウントの一覧確認/追加/編集/削除を行うページです。 アクセスには管理者権限が必要です。
	ユーザーグループ	ユーザーグループの一覧確認/追加/編集/削除を行うページです。 アクセスには管理者権限が必要です。
コンテンツ	コンテンツ管理	登録されたコンテンツの一覧/詳細情報/プレビュー/編集/削除を行うページです。 アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。
	アップロード	VOD コンテンツのアップロード・登録を行うページです。 アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。
	ライブの登録	ライブコンテンツの登録を行うページです。 アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。 ※ライブオプションが有効である場合に表示されます。
	属性管理	属性情報の管理を行うページです。 アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。
	アーカイブ	サーバーに登録されたコンテンツを LTO に書き出す (アーカイブ) ページです。 アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。 ※アーカイブオプションが有効である場合に表示されます。

システム	状態	サーバーの各種状態の表示やログの取得を行うことができます。
	設定	視聴権限設定の有無、編集権限設定の有無、埋め込みコードホスト名、「ホーム」ページで全てのコンテンツカテゴリの表示の有無、LTO サーバーの IP アドレスとパスワードなどを設定します。
	操作履歴	操作履歴の一覧表を表示します。期間やユーザーを指定して絞り込み検索することも可能です。
	イベントログ	システムのイベントログの一覧を表示します。期間を指定して絞り込み検索することも可能です。
	LTO	LTOテープの取り出しやフォーマットなどの制御と過去に使用したテープの記録が閲覧できます。 ※アーカイブオプションが有効である場合に表示されます。
	検索設定	「ホーム」ページ、「コンテンツ管理」ページでのコンテンツの検索条件を設定します。
(ユーザー名) アカウント管理	個人設定	ログイン中のユーザーのパスワードを変更するページです。
	ログアウト	ログアウトを行いログインページに戻ります。

IV-3. ユーザー管理

ユーザー管理はユーザーの登録・設定変更・削除を行うことができます。

これらの操作を行うには管理者権限が必要です。

ユーザーに設定する権限は、そのユーザーをグループに所属させることで設定することができます。

ユーザーは複数のグループに所属することもできます。

■ IV-3-1. ユーザーの追加

メニューバーの「ユーザー」⇒「ユーザー」のリンクからユーザー管理のページに移動することができます。

ユーザー名	表示名	有効 / 無効	グループ
admin		有効	[administrator]
manage	manage	有効	[管理者]
staff1		有効	[スタッフ]
staff2		有効	[スタッフ]
staff3		有効	[スタッフ]

■ 「ユーザー」 ページ

ユーザー管理のページで、ページ上部の「+追加」ボタンからユーザーを追加できます。

■ 「ユーザーの追加」画面

入力項目	条件
ユーザー名	127 文字以内で他のユーザーと重複しない名前を指定します。使用可能な文字は e-mail アドレスに使えるものです。正規表現で表すと、 /^[a-zA-Z0-9@¥.!\#¥\$%&¥'*¥+¥/=¥?¥^`¥{¥ ¥}~¥-]+\$/ となります。
パスワード	3 文字以上で指定します。複雑性の制限はありません。
確認入力	先に入力したパスワードに間違いがないか確認する為、同じパスワードを再入力します。
表示名	63 文字以内で指定します（半角・全角は問いません）。
有効	チェックを外すとそのユーザーはアクセスできません。
グループ	所属するグループを選択します。複数選択可能です。 グループの選択は必須ではありませんが、選択しない場合は権限が設定されないため、何もできないユーザーとなります。

■ IV-3-2. ユーザーの編集

メニューバーの「ユーザー」⇒「ユーザー」のリンクからユーザー管理のページに移動し、リストの右側にある「編集」ボタンからユーザー情報の編集を行うことができます。



■ 「ユーザーの編集」画面

入力項目	条件
ユーザー名	変更できません。
表示名	63 文字以内で指定します（半角・全角は問いません）。
有効	チェックを外すとそのユーザーはアクセスできません。
グループ	所属するグループを選択します。複数選択可能です。 グループの選択は必須ではありませんが、選択しない場合は何もできないユーザーとなります。

IV-3-2-1. パスワードのリセット



■ 「パスワードリセット」項目

パスワードを忘れてしまったユーザーに対して管理者はパスワードを再設定することができます。

「パスワードリセット」項目を展開することで入力欄が表示されます。新しいパスワードを入力後、「リセット」ボタンを押すと、新しいパスワードに変更されます。

パスワード文字列の制限はユーザーの追加と同様です。



■ 「パスワードリセット」ページ

■ IV-3-3. ユーザーのアドレス制限の編集

ユーザーがログインする端末を制限したい場合、ユーザーのアドレス制限を設定することができます。

メニューバーの[ユーザー] ⇒ [ユーザー] のリンクからユーザー管理のページに移動し、リストの右側にある[編集] ボタンの[▼] をクリックし、ドロップダウンメニューから[アドレス制限の編集] を選択すると、アドレス制限の編集を行うことができます。



■ [アドレス制限] 画面

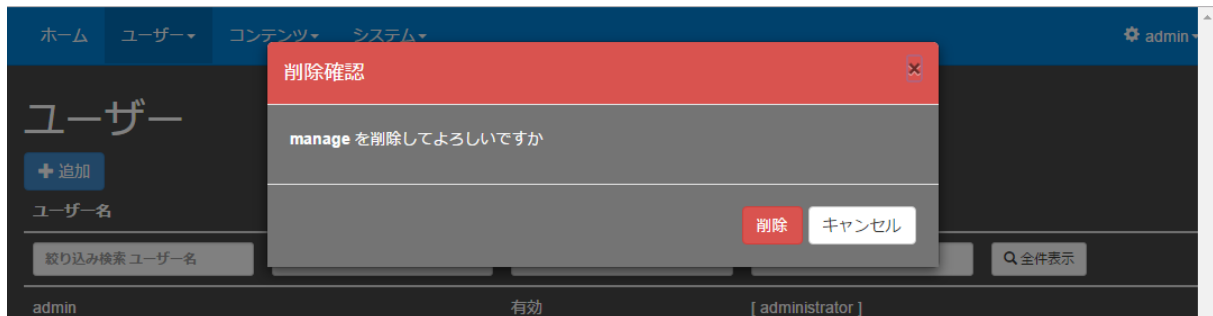
上部の[+ 追加] ボタンから制限項目を追加できます。

また、登録済のアドレス制限の右端の[⊗ 削除] ボタンで制限項目を削除できます。

入力項目	条件
優先度	0-100 の数値、数値が大きい程優先度は高くなります。 複数の制限が登録されていた場合、優先度の高いものから適用されます。
タイプ	以下の 4 種類から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・無効：このアドレス制限の設定自体を無効にします。 ・許可：指定されたアドレスからのログインを許可します。 ・禁止：指定されたアドレスからのログインを禁止します。 ・自動ログイン：特定のアドレスを持つ機器からアクセスされた際に、決まったユーザーで自動的にログインしたい場合に使用します。
アドレス	「タイプ」項目で指定した内容が適用される機器の IP アドレスまたは CIDR 表記アドレスを指定します。

■ IV-3-4. ユーザーの削除

メニューバーの [ユーザー] ⇒ [ユーザー] のリンクからユーザー管理のページに移動し、リストの右側にある [削除] ボタンからユーザーを削除できます。



■ [削除確認] 画面

削除時には確認メッセージが表示され、誤操作の場合はこの段階でキャンセルすることができます。

■ IV-3-5. ユーザーグループの追加

メニューバーの「ユーザー」⇒「ユーザーグループ」のリンクからユーザーグループ管理のページに移動することができます。

グループ名	役割	説明
administrator	[スーパー管理者]	
temporary admin	[temporary admin]	
contents owner	[contents owner]	
viewer	[viewer]	
group 1	[contents owner]	編集 削除
group 2	[viewer]	編集 削除

■ 「ユーザーグループ」 ページ

グループの追加は、ページ上部の［+追加］ボタンを押すことで行います。

■ 「ユーザーグループの追加」画面

■ ユーザーグループの追加で設定する項目

入力項目	条件
グループ名	127 文字以内で指定します。使用する文字の制限はありません。ほかのグループ名と同じものは使用できません。
説明	127 文字以内で指定できます(半角・全角は問いません)
ロール	<p>標準構成では規定のロール(役割) 4 種類からいずれかを選択します。製品によってはこれ以外のロール(役割) が出荷前に追加され存在することもあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. administrator 2. temporary admin 3. contents owner 4. viewer <p>※ロールにはそれぞれ機能が設定されており、グループに所属するユーザーの機能はグループのロールから引き継がれます。</p>

■ 各ロール（役割）の所持機能

役割名	所持機能	説明
administrator	AdministrativePrivilege DownloadPrivilege SystemManagement SystemMonitoring LtoManagement UserGroupManagement UserManagement ContentManagement ContentArchive View	全ての機能を所持する
temporary admin	AdministrativePrivilege DownloadPrivilege SystemManagement SystemMonitoring LtoManagement UserManagement ContentManagement ContentArchive View	ユーザーグループ管理機能を除いた全ての機能を所持する
contents owner	ContentManagement View	コンテンツ管理と視聴のみができる
viewer	View	視聴のみができる

■ 機能の種類

機能名	説明
AdministrativePrivilege	視聴許可設定の有無に関わらず全てのコンテンツにアクセスできる機能
DownloadPrivilege	全てのコンテンツがダウンロードできる機能
SystemManagement	〔システム〕 カテゴリのページにアクセスする機能
SystemMonitoring	〔システム〕 ⇒ 〔状態〕 ページにアクセスする機能
LtoManagement	〔システム〕 ⇒ 〔LTO〕 ページにアクセスする機能
UserGroupManagement	〔ユーザーグループ〕 ページにアクセスする機能
UserManagement	〔ユーザー〕 ページにアクセスする機能
ContentManagement	〔コンテンツ〕 カテゴリのページにアクセスする機能
ContentArchive	〔コンテンツ〕 ⇒ 〔アーカイブ〕 ページにアクセスする機能
View	〔ホーム〕 ページ（視聴画面）にアクセスする機能

■ IV-3-6. ユーザーグループの編集

メニューバーの「ユーザー」⇒「ユーザーグループ」のリンクからユーザーグループ管理のページに移動し、リストの右側ある「編集」ボタンからユーザーグループ情報の編集を行うことができます。



■ 「ユーザーグループの編集」画面

■ ユーザーグループの編集の設定項目

入力項目	条件
グループ名	変更できません。
説明	127 文字以内指定できます(半角・全角は問いません)
ロール	<p>標準構成では規定のロール（役割）4 種類からいずれかを選択します。 製品によってはこれ以外のロール（役割）が出荷前に追加され存在することもあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. administrator 2. temporary admin 3. contents owner 4. viewer <p>※ロールにはそれぞれ機能が設定されており、グループに所属するユーザーの機能はグループのロールから引き継がれます。</p>

■ IV-3-7. ユーザーグループのアドレス制限の編集

メニューバーの[ユーザー] ⇒ [ユーザーグループ] のリンクからユーザーグループ管理のページに移動し、リストの右側にある[編集] ボタンの[▼] をクリックし、ドロップダウンメニューから[アドレス制限の編集] を選択すると、アドレス制限の編集を行うことができます。



■ [アドレス制限] 画面

上部の[+ 追加] ボタンから制限を追加できます。また、登録済のアドレス制限の右端の[⊗ 削除] ボタンで削除できます。

■ アドレス制限の設定項目

入力項目	条件
優先度	0-100 の数値、数値が大きい程優先度は高くなります。 複数の制限が登録されていた場合、優先度の高いものから適用されます。
タイプ	以下の 3 種類から選択します。 ・無効：このアドレス制限の設定自体を無効にします。 ・許可：指定されたアドレスからのログインを許可します。 ・禁止：指定されたアドレスからのログインを禁止します。
アドレス	タイプで指定した制限を実行する機器の IP アドレスまたは CIDR 表記アドレスを指定します。

※ユーザーグループに対するアドレス制限とユーザーに対するアドレス制限の両方が設定されていた場合、ユーザーに対するアドレス制限が優先されます。

■ IV-3-8. LDAP 認証の設定

LDAP 認証の設定を行うと、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーのユーザーに、対応する LDAP サーバーのユーザー名/パスワードでログインすることができます。

LDAP 認証の設定手順は、まず [システム] ⇒ [設定] ページから [LDAP 認証の設定] を表示します。

The screenshot shows the MEDIAEDGE web interface. The top navigation bar includes 'ホーム' (Home), 'ユーザー' (Users), 'コンテンツ' (Content), and 'システム' (System). The 'システム' menu is expanded, showing '設定' (Settings) and 'LDAP 認証の設定' (LDAP Authentication Settings). The 'LDAP 認証の設定' page is displayed, featuring the following fields and options:

- LDAP URL:** A text input field containing 'ldap://192.168.103.223:3'. To its right is a checkbox labeled '未承認の証明書を許可しない' (Do not allow untrusted certificates), which is checked.
- ユーザー名 (DN):** A text input field containing 'cn=manager,dc=mediaedge,dc=local,dc=jp'.
- パスワード:** A password input field with masked characters '*****'.
- 接続テスト:** A green button with a checkmark icon and the text '接続テスト'.

次に、[LDAP 認証の設定] に LDAP URL とユーザー名 (DN) ・パスワードを入力します。

LDAP URL	<p>LDAP サーバーの URL を指定します。</p> <p>schema が ldap の場合、通常はポート番号 389</p> <p>schema が ldaps の場合、通常はポート番号 636</p> <p>ldaps で自己署名入り証明書が用いられている場合は [未承認の証明書を許可しない] のチェックを外してください。</p>
ユーザー名 (DN)	<p>LDAP サーバーとの接続に用いるユーザー名 (DN) を指定します。</p> <p>Active Directory の場合、ドメインコントローラー上のコマンドプロンプトで</p> <pre>>dsquery user</pre> <p>を実行するとユーザー名 (DN) が一覧表示されます</p>
パスワード	<p>ユーザー名 (DN) で指定したユーザーのパスワードを指定します。</p>

[接続テスト] ボタンを押して [成功] と表示されることを確認します。

〔検索先 (DN)〕・〔検索フィルタ〕を入力した後、〔認証テスト〕の〔ユーザー名〕・〔パスワード〕項目に入力し〔認証テスト〕ボタンを押します。

このとき、各項目に設定する内容は次の通りです。

検索先 (DN)		<p>ユーザー情報が格納されている DN を指定します。</p> <p>Active Directory の場合は [CN=Users,DC=xx,DC=yyy,DC=zzz] のような階層になります。</p>
検索フィルタ		<p>ユーザー情報の検索フィルタを指定します。</p> <p>入力したユーザー名に対して必ず単独のエントリがヒットするようなフィルタを指定する必要があります。</p> <p>{{username}} が入力したユーザー名に置換されます</p> <p>{{username}} とマッチングさせる属性として cn、uid、sAMAccountName、userPrincipalNameなどを指定します</p> <p>objectclass として organizationalPerson、inetOrgPerson、posixAccountなどを指定します</p> <p>Active Directory の場合は sAMAccountName と organizationalPerson など</p> <p>書式については Search Filter Syntax (https://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa746475(v=vs.85).aspx) などをご参照ください。</p>
認証テスト	ユーザー名	実際に LDAP サーバーに登録されており、上記検索フィルタに一致するユーザー名を指定してください。
	パスワード	上記ユーザー名に対応するパスワードを指定してください。

認証に成功すると指定したユーザーの LDAP の属性値が JSON 形式で表示されます。

認証テスト

ユーザー名

tyamada

パスワード

.....

🔑 認証テスト

```
{
  "dn": "CN=山田 太郎,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",
  "controls": [],
  "objectClass": [
    "top",
    "person",
    "organizationalPerson",
    "user"
  ],
  "cn": "山田 太郎",
  "sn": "山田",
  "givenName": "太郎",
  "distinguishedName": "CN=山田 太郎,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",
  "instanceType": "4",
  "whenCreated": "20160721011817.0Z",
  "whenChanged": "20160721014402.0Z",
  "displayName": "山田 太郎",
  "uSNCreated": "12870",
  "uSNChanged": "12880",
  "directReports": "CN=山田 花子,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",
  "name": "山田 太郎",
  "objectGUID": "2\u000b\u00e5\u00f9\u009ai\u00sk",
  "userAccountControl": "66048",
  "badPwdCount": "0",
  "codePage": "0",
  "countryCode": "0",
  "badPasswordTime": "131141694846994606",
  "lastLogoff": "0",
  "lastLogon": "131141694859816023",
  "pwdLastSet": "131135374976961829",
  "primaryGroupID": "513",
  "objectSid": "\u0001\u0005\u0000\u0000\u0000\u0000\u0000\u0000\u0000\u0005\u0015\u0000\u0000\u0000\u0000^8#\u0016if\u0007-
P\u0004\u0000\u0000\u0000",
  "accountExpires": "9223372036854775807",
  "logonCount": "0",
  "sAMAccountName": "tyamada",
  "sAMAccountType": "805306368",
  "userPrincipalName": "tyamada@test.internal.jp",
  "objectCategory": "CN=Person,CN=Schema,CN=Configuration,DC=test,DC=internal,DC=jp",
  "dSCorePropagationData": [
    "20160721011817.0Z",
    "16010101000000.0Z"
  ],
  "lastLogonTimestamp": "131135390424447006",
  "msDS-PhoneticFirstName": "タロウ",
  "msDS-PhoneticLastName": "ヤマダ",
  "msDS-PhoneticDisplayName": "ヤマダ タロウ"
}
```

[適用] をクリックし、設定内容を保存します。

■ IV-3-9. LDAP ユーザーの紐づけの設定

LDAP のユーザーでログインするためには LDAP のユーザーと本システムのユーザーの紐づけ規則を設定する必要があります。紐づけには LDAP の属性値を用います。

紐づけ規則の設定は、次の手順で行います。

1. [ユーザー] ⇒ [ユーザー] からユーザー一覧を開きます。
2. 右端の [編集] の [▼] ボタンをクリックし、ドロップダウンメニューから [LDAP ユーザーの紐づけ] をクリックします。



3. LDAP ユーザーの紐づけの規則 (ldap-bind オブジェクトの JSON 表現) を入力し [更新] をクリックします。

LDAP ユーザーの紐づけ

ユーザー名: staff1

```
{
  "enabled": false,
  "binds": [
    {
      "field": "dn",
      "regex": "CN=.*,CN=Users,DC=test,DC=com"
    }
  ],
  "nameField": [
    "cn"
  ],
  "displayNameField": [
    "displayName"
  ],
  "priority": 0
}
```

整形 元に戻す ひな形の呼び出し

更新 キャンセル

● ldap-bind オブジェクト

名前	型	デフォルト値	説明
enabled	boolean	true	この紐づけを [有効/無効] にする
binds	条件オブジェクト 配列	[]	LDAP の属性と紐づける条件オブジェクトの配列を記述する 複数記述した場合はすべての条件オブジェクトを満たすことを条件とする
nameField	文字列 or 文字列配列	["cn","sn", "uid"]	ユーザー名として用いる LDAP の属性 複数記述した場合は先に書いた方が優先される
displayNameField	文字列 or 文字列配列	["displayName"]	表示名として用いる LDAP の属性 複数記述した場合は先に書いた方が優先される
priority	数値	0	複数の本システムのユーザーが条件を満たした場合に使用するユーザーの優先順位 値が大きいほうが優先される

● 条件オブジェクト

名前	型	説明
field	文字列	この条件の対象となる LDAP の属性値の名前 属性が複数の値 (配列) を持つ場合はどれか一つでも一致すれば条件を満たす
regex	文字列	正規表現によるマッチング
eq	文字列 or 数値	一致
neq	文字列 or 数値	不一致
ieq	文字列	大文字、小文字を区別しない一致
nieq	文字列	大文字、小文字を区別しない不一致
gt	数値	超える より大きい
lt	数値	未満 より小さい
gte	数値	以上
lte	数値	以下

- 属性値によって別のユーザーに紐づける場合
 - 例えば Active Directory で Administrators グループに所属しているユーザーは下記のような "memberOf" 属性を持っています。

```

"memberOf": [
  "CN=Group Policy Creator Owners,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",
  "CN=Domain Admins,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",
  "CN=Enterprise Admins,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",
  "CN=Schema Admins,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",
  "CN=Administrators,CN=Builtin,DC=test,DC=internal,DC=jp"
]

```

- ldap-bind オブジェクトを編集して Active Directory で Administrators グループに所属するユーザーを本システムの別のユーザーに紐づけることができます。

※"memberOf" を対象とする条件オブジェクトを追加、"priority" を高く設定

ユーザー名

```

{
  "enabled": true,
  "binds": [
    {
      "field": "dn",
      "regex": "CN=.*,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp"
    },
    {
      "field": "memberOf",
      "eq": "CN=Administrators,CN=Builtin,DC=test,DC=internal,DC=jp"
    }
  ],
  "nameField": [
    "sAMAccountName"
  ],
  "displayNameField": [
    "displayName"
  ],
  "priority": 10
}

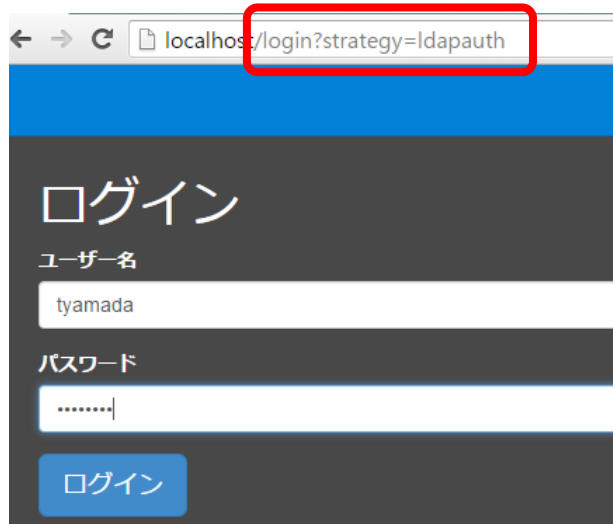
```

■ IV-3-10. デフォルトの認証方式の変更

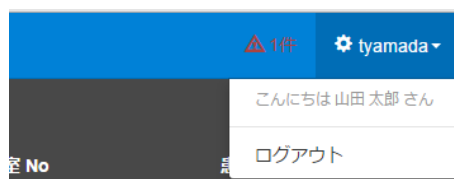
LDAP 認証 ⇔ ローカル認証の切り替えは、次の手順で行います。

- LDAP 認証へ変更する場合

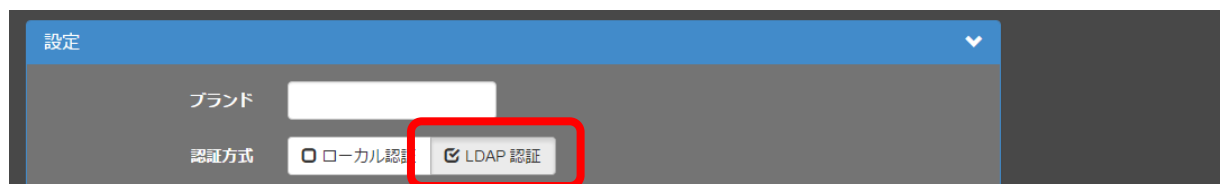
1. ログインページの URL の後ろに ?strategy=ldapauth をつけます（入力後、そのページに "移動" してください）。



2. ユーザー名、パスワードに LDAP のユーザー名、パスワードを指定し [ログイン] を実行します。
3. 下記のようにになっているか確認します。
 - ・右上に [nameField] で指定した属性の値が表示されること
 - ・ドロップダウンに [displayNameField] で指定した属性の値が表示されること
 - ・ドロップダウンに [個人設定] が表示されていないこと



4. 管理者権限のあるユーザーでログインしなおし [システム] ⇒ [設定] ページに移動します。
5. [設定] ⇒ [認証方式] を [LDAP 認証] に変更し、適用をクリックしてください。



- 認証方式を [LDAP 認証] に変更後、一時的にローカル認証を行いたい場合
 1. ログインページの URL の後ろに ?strategy=local をつけます(入力後、そのページに ” 移動” してください)。
 2. ユーザー名、パスワードに本システムのユーザーのユーザー名、パスワードを指定し [ログイン] を実行します。

※認証方式を LDAP 認証に切り替えた後、ログインができなくなった場合などにこの方法で一時的にローカル認証でログインし、設定を変更することができます。

IV-4. コンテンツ管理

本製品で扱うことのできるコンテンツにはライブコンテンツと VOD（ビデオオンデマンド）コンテンツの 2 種類があります。

※ライブ機能はライブオプションが有効の場合にご利用いただけます。

■ IV-4-1. ライブコンテンツの登録

各種エンコーダや IP カメラなどのライブ映像を本製品を経由して配信するにはライブコンテンツを登録する必要があります。メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [ライブの登録] のリンクからライブ登録ページに移動することができます。



■ [ライブの登録] ページ

MEDIAEDGE-CLEB など、RTMP パブリッシュ機能をもつ機器の映像を配信する場合は「+ RTMP ライブ」ボタンより登録を行います。

ホーム ユーザー コンテンツ システム admin

ライブの登録

RTMP パブリッシャーからのライブストリームを受信します。
コンテンツのタイトルおよびストリームの名前を指定してください。
登録完了後、RTMP パブリッシャーに対してパブリッシュ URL を設定してください。

タイトル* MEDIAEDGE-CLEB

ストリーム名* cleb

パブリッシュ URL rtmp://192.168.103.60:1935/live/cleb

*: 必須項目

登録 戻る

■ 「+ RTMP ライブ」 ボタンを押した後のライブの登録ページ

タイトルには適当な名前を指定します。

ストリーム名は適当な名前を指定します。配信する機器で指定がある場合はその値を設定してください。

パブリッシュ URL が表示されるので、内容を確認してください。

次に、MEDIAEDGE-CLEB などの配信機器で、出力（配信）先の URL としてライブの登録画面に表示された［パブリッシュ URL］を記述します。

MEDIAEDGE-CLEB 状態 ログ 設定 ユーザーアカウント エンコード ▾ 電源 ▾

出力ストリーム 1

出力先

URI

以下のパラメーターをファイル名に使用できます。
%t : 開始日時を挿入します。ex) 20150501T151000
%d : インデックスを挿入します。分割時間>0の時のみ有効です。

コンテナ

分割時間
(0 to 1440min, 0:no split)

■ 設定画面の例（MEDIAEDGE-CLEB）

機器によっては配信先 URL とストリーム名で指定する場合もあるので、その場合はパブリッシュ URL からストリーム名を除いたものを指定するなど、適宜調整してください。

ネットワークカメラや MEDIAEDGE LEB Pro2 など、RTSP 配信に対応した機器をライブの配信ソースとする場合は「+ネットワークカメラ中継」ボタンより登録を行います。H.264 圧縮で RTSP プロトコルに対応したネットワークカメラおよびエンコーダ機器が対象となります。

■ 「ネットワークカメラ中継」ボタンを押した後のライブの登録ページ

タイトルには適当な名前を指定します。

「ソース URL」にカメラまたはエンコーダ内の RTSP サーバーの URL を指定します。

ユーザー名とパスワードに機器のユーザー名・パスワードを指定します。

RTP 転送モードは機器に合わせて設定ください（不明な場合は UDP を指定してください）。

RTSP の URL は使用するネットワークカメラの機種やメーカーによって異なります。
次の値は当社で動作検証を行った範囲でのアクセス URL となります。
詳しくはそれぞれのカメラのマニュアルを参照するかメーカーにご確認ください。

■ 主なメーカーのソース URL 記述方法

Panasonic	rtsp:// [IP アドレス] /MediaInput/h264 または rtsp:// [IP アドレス] /MediaInput/h264/stream_1 一部の機種では stream_1～stream_4 を指定する必要がある
SONY	rtsp:// [IP アドレス] /media/video1 (ほとんどの機種ではは video1～3 が指定可能)
AXIS	rtsp:// [IP アドレス] /axis-media/media.amp
CANON	rtsp:// [IP アドレス] /stream/profile1=r
JVC	rtsp:// [IP アドレス] /ONVIF/Streaming/channels/0_a/unicast
MASPRO	rtsp:// [IP アドレス] / [カメラ Web コンソールから設定] アクセス先アドレスはネットワークカメラの設定で指定した値になる
D-Link	rtsp:// [IP アドレス] /live1.sdp

[IP アドレス] は、ネットワークカメラに割り振った IP アドレスまたはホスト名を指定してください。

動作確認済みネットワークカメラの機種については Appendix の動作確認済みネットワークカメラをご参照ください。

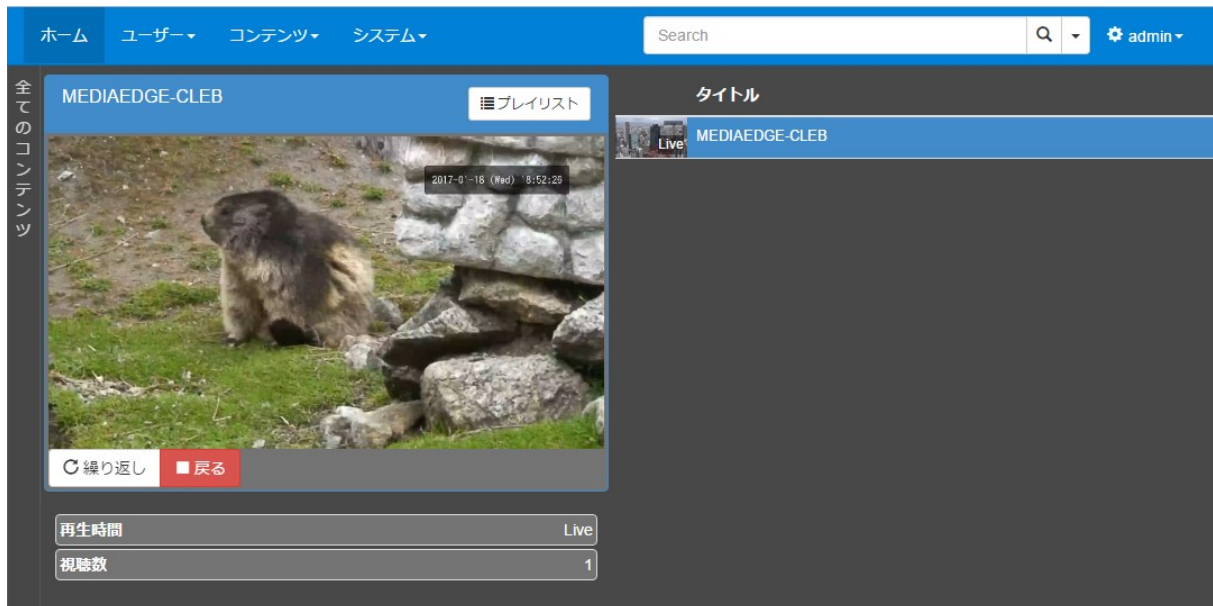
※rtsp://の部分は必ず小文字で記述する必要があります。

※当社にて検証を行った結果であり、上記の値で接続できることを保証するものではありません。

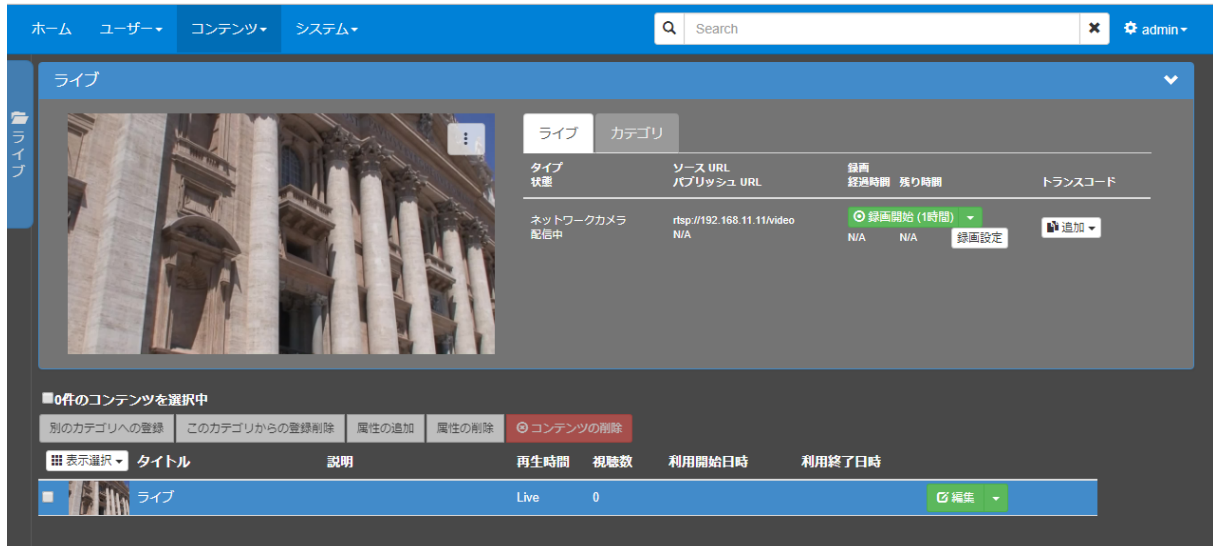
■ IV-4-2. ライブコンテンツの視聴

ライブ映像は「ホーム」ページまたは「コンテンツ管理」ページより視聴することができます。

■ 「ホーム」ページより視聴した場合



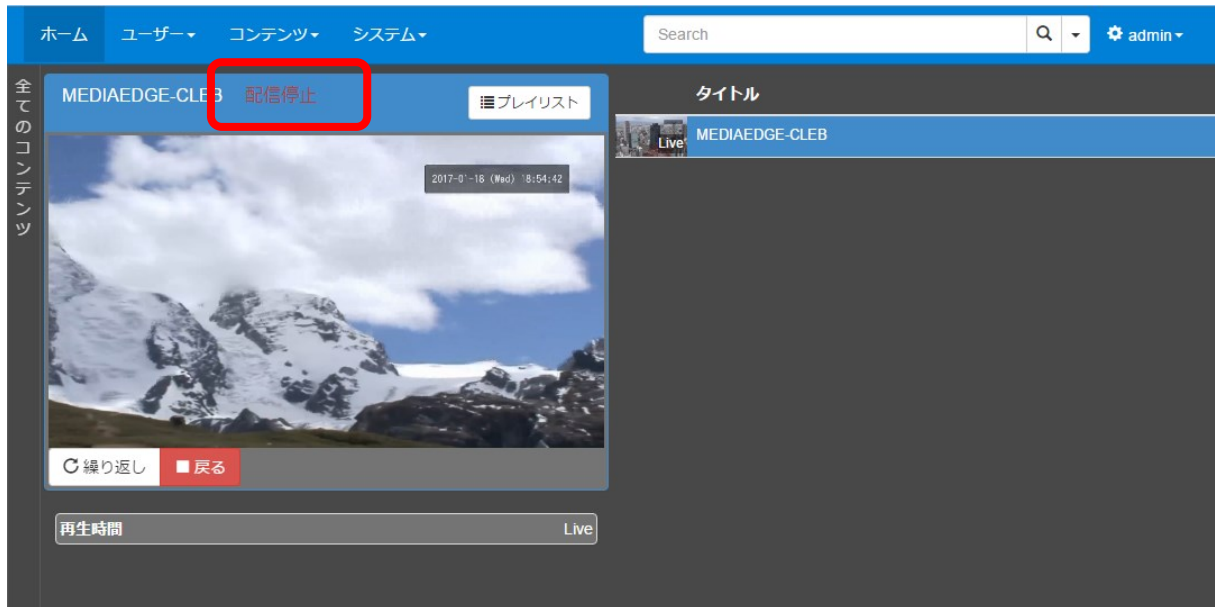
■ 「コンテンツ管理」ページから視聴した場合



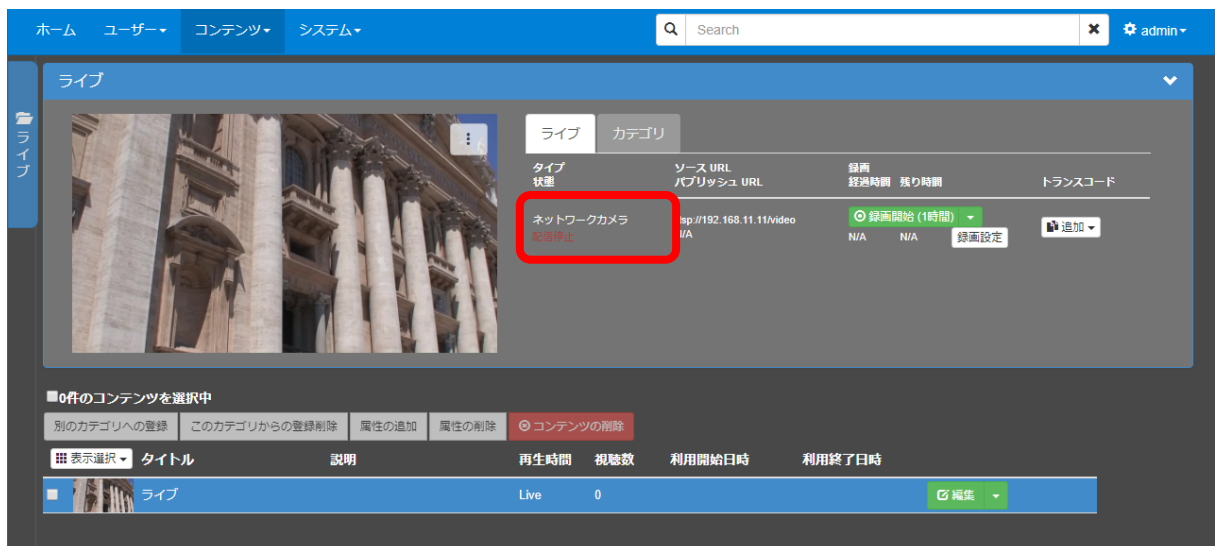
操作説明書

ネットワークカメラやネットワークエンコーダの電源が入っていない場合、配信を開始していない場合、またはネットワーク経路に問題がありストリームが到達していない場合は下図のように画面中に配信停止の表示が行われます。

■ [ホーム] ページで視聴している時



■ [コンテンツ管理] ページで視聴している時



■ IV-4-3. ライブコンテンツの録画

ライブコンテンツをサーバーで録画する場合は、[コンテンツ管理] ページで操作します。

The screenshot shows the 'Live' content management interface. At the top, there's a navigation bar with 'ホーム', 'ユーザー', 'コンテンツ', and 'システム'. A search bar and 'admin' user indicator are on the right. The main area is titled 'ライブ' (Live). On the left, there's a video player showing a live feed of a building. The main table lists live content with columns: 'タイプ 状態', 'ソース URL', 'パブリッシュ URL', '録画 経過時間', '残り時間', and 'トランスコード'. The first row shows 'ネットワークカメラ 配信中' with source URL 'rtsp://192.168.11.11/video' and publish URL 'N/A'. The recording status is '録画開始 (1時間)'. A red box highlights a dropdown menu in the top right corner. A red arrow points from this menu to a '追加' (Add) button in the 'Transcode' section. A second red arrow points from the '追加' button to a dropdown menu showing 'AAC 変換' and '512kbps変換' options.

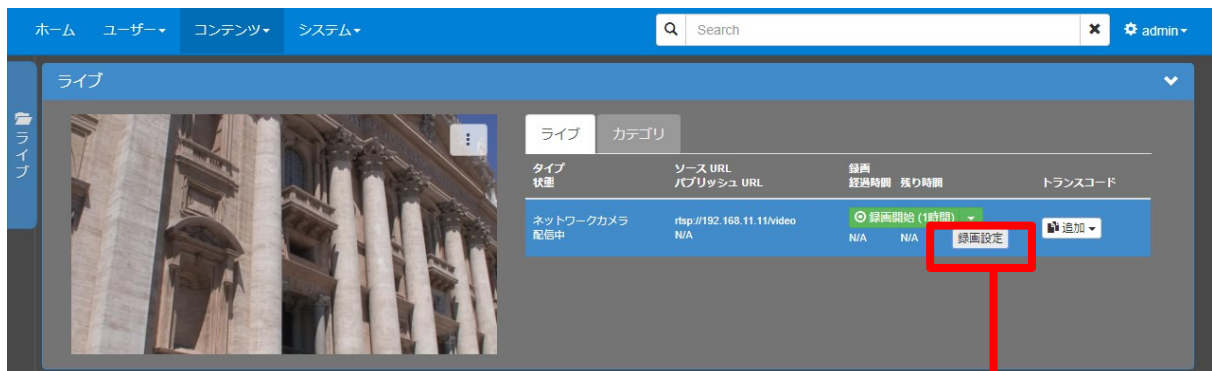
タイプ 状態	ソース URL	パブリッシュ URL	録画 経過時間	残り時間	トランスコード
ネットワークカメラ 配信中	rtsp://192.168.11.11/video	N/A	録画開始 (1時間)		追加
512kbps変換 配信中	N/A	N/A	録画開始 (1時間)		削除

[コンテンツ管理] ページからライブコンテンツを選択し、上部ペインを押してライブコンテンツの基本情報・詳細情報を表示します。[録画開始 (○分)] と表示された緑のボタンが録画開始ボタンです。このボタンを押すと録画が開始されボタン表示が下記のように変化します。




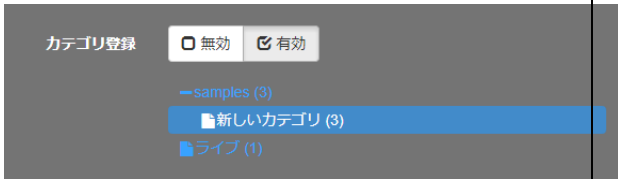
[停止] ボタンを押すと録画が終了します。あらかじめ指定した録画時間を超えたときは自動的に録画が終了します。録画時間を延長する場合は[延長 (○分)] のボタンを押すか、ドロップダウンメニューから延長する時間を選択することができます。

IV-4-3-1. ライブコンテンツの録画設定



録画設定ダイアログを押下すると録画設定ダイアログが表示されます。



分割録画	<p>無効または有効を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効：一定時間ごとにファイルを分割して録画します。分割したい時間を設定します。  <ul style="list-style-type: none"> ・無効：分割して録画を行いません。
カテゴリ登録	<p>無効または有効を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効：録画終了時にコンテンツが登録されるカテゴリを設定します。  <p>上記の例では録画されたコンテンツは「新しいカテゴリ」に登録されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無効：録画されたコンテンツは「未分類のコンテンツ」に登録されます。

■ IV-4-4. ライブコンテンツをトランスコードして配信・録画(オプション)

トランスコードオプションが設定されているシステムでは配信する映像のサイズやビットレートを変換するトランスコード処理を追加することができます。トランスコードの [追加] ボタンのドロップダウンメニューから [AAC 変換] [512kbps 変換] を選択します。

[AAC 変換] は配信するストリームのうち、映像データはそのまま音声のみ AAC 形式に変換します。ライブコンテンツの入力音声の圧縮形式が AAC でない場合、配信先の機器によっては音声再生できないことがあります。そのような場合に [AAC 変換] を行うことで音声再生できるようになることがあります。変換を行うことができる入力音声の圧縮形式は

- G.711(μ-law 及び A-law)
- MPEG-1 Layer 1/2
- MPEG-1 Layer 3(MP3)
- Speex
- Vorbis
- Opus

です。

[512kbps 変換] は配信する映像のビットレートを 512kbps に変換します。

※構成によってはトランスコードの設定に [AAC 変換] [512kbps 変換] 以外のものが追加されている場合があります。

※RTMP パブリッシュ機能で配信を行っている場合、トランスコードの追加を反映させるためには配信機器側を操作して配信を停止・開始させる必要があります。

■ IV-4-5. VOD コンテンツの登録

VOD コンテンツの登録はアップロードページから行います。

メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [アップロード] のリンクから VOD コンテンツの登録ページに移動します。



■ [アップロード] ページ

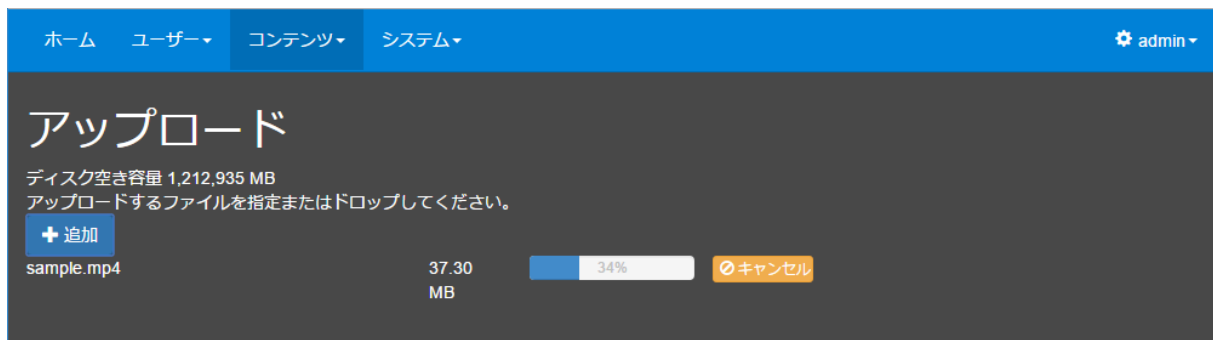
ここで [+ 追加] ボタンを押すとファイル選択ウィンドウが開き、登録したいファイルを選択できます。

ファイルを選択するとアップロードが行われ、VOD コンテンツとして登録されます。

アップロード中に [キャンセル] ボタンを押すとアップロードが中止されます。

アップロードが正常に終了すると [✓完了] ボタンが表示されます。

[✓完了] ボタンを押すと同じ行のメッセージが消えます。



アップロードを行う際に、複数ファイルを一度に指定することもできます。また、進行中のアップロードが完了する前に追加でアップロードするファイルを指定することもできます。

※アップロード中にページの再読み込みを行うとアップロードが中断されますのでご注意ください。

アップロードが完了したファイルは「ホーム」ページおよび「コンテンツ管理」ページで権限を持ったユーザーが視聴可能な状態となります。

アップロード機能で VOD コンテンツに登録できる映像ファイルは次の形式のものとなります。

コンテナ形式	MPEG4 Part14 (ISO/IEC 14496-14:2003)
映像形式	H.264 (MPEG4 Part10 ITU-T Rec. H.264 ISO/IEC 14496-10 Advanced Video Coding)
音声形式	AAC-LC

※構成によっては、上記の形式を満たさない映像ファイルをアップロードした後にサーバーが自動的にファイル形式を変換するよう設定されている場合もあります。

■ IV-4-6. コンテンツの詳細

コンテンツの詳細を確認・設定する場合は、メニューバーの[コンテンツ] ⇒ [コンテンツ管理] のリンクから[コンテンツ管理] ページに移動して設定を行います。

図中の[コンテンツリスト] のエリアにコンテンツリストが表示されます。admin ユーザーおよび Administrator ロールの権限が付与されたユーザーであれば全てのコンテンツがリストで確認できます。限定的な権限しか持っていなければ許可されたコンテンツしか表示されません。

The screenshot displays the 'Content Management' interface. At the top, a navigation bar includes 'ホーム', 'ユーザー', 'コンテンツ', and 'システム'. A search bar with the text '絞り込み検索' is highlighted. Below the navigation bar, a sidebar on the left shows a tree view of content categories: '全てのコンテンツ (4)', '未分類のコンテンツ (0)', 'samples (3)', and 'ライブ (1)'. The main area is divided into two sections. The top section, titled 'コンテンツの詳細', shows details for 'sample1', including a video player, a list of tabs (ファイル, ビデオ, オーディオ, カテゴリ), and a table of attributes (フォーマット, 再生時間, サイズ, ビットレート, 優先度, ダウンロード). The bottom section, titled 'コンテンツリスト', shows a table of content items with columns for 'タイトル', '説明', '再生時間', '視聴数', '利用開始日時', and '利用終了日時'. The table lists 'sample1', 'sample2', and 'sample3'. A yellow box highlights the 'カテゴリ管理・検索' section, and a green box highlights the 'コンテンツリスト' table.

リストに表示するコンテンツが 10 件を超える場合はリスト下部にページ移動のリンクが表示されます。

<input type="checkbox"/>		Sample02	0:05	0
<input type="checkbox"/>		Sample01	0:06	0

1 2 3 4

リストからコンテンツを選択すると図中の[コンテンツの詳細] エリアに詳細情報が表示されます。

■ IV-4-7. コンテンツのカテゴリ

コンテンツは複数のカテゴリに所属させることができます。

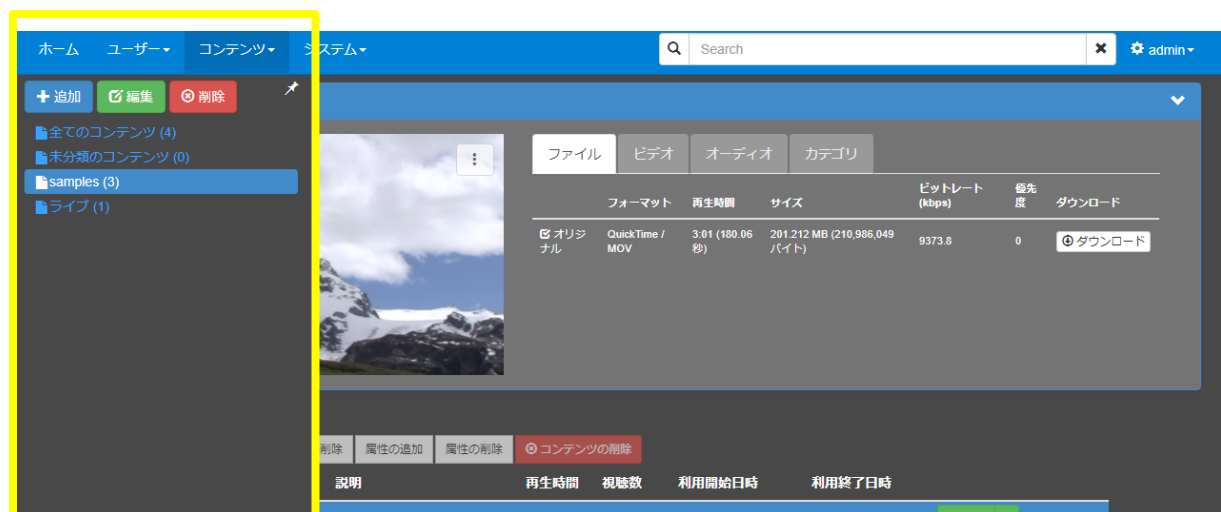
アップロード直後のコンテンツは「全てのコンテンツ」、「未分類のコンテンツ」という二つの定義済みカテゴリに登録されます。

カテゴリは、「ホーム」ページ及び「コンテンツ管理」ページで左端のサイドバーを押すと展開されます。以下は、「コンテンツ管理」ページでの表示例です。

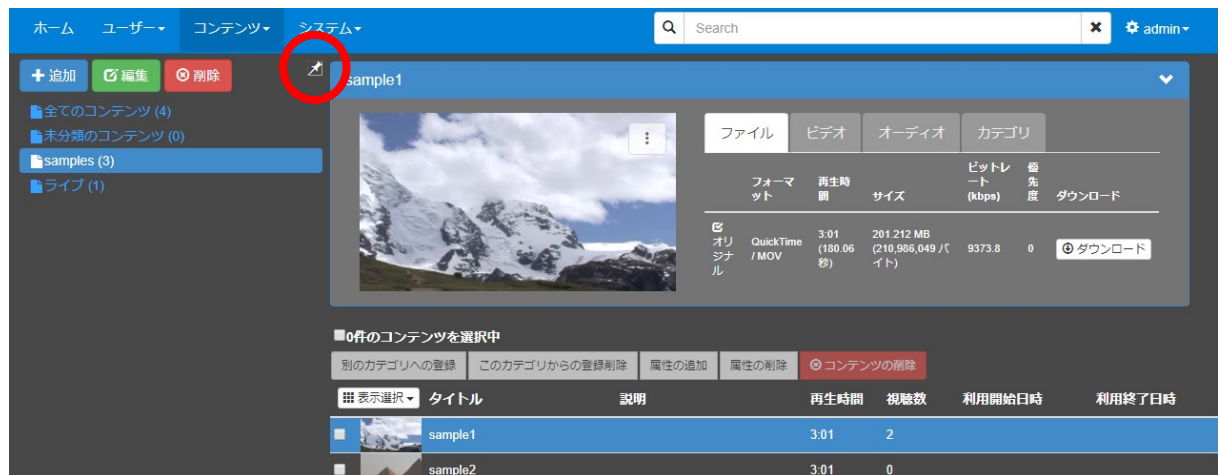


■ サイドバー

■ サイドバー（カテゴリ）展開中



サイドバーはコンテンツ表示エリアをクリックすると折りたたまれますが、右上のピンマークを押すことで、サイドバーを展開した状態で固定することもできます。



■ 固定中のサイドバー（カテゴリ）

固定を解除するには、再度ピンマークを押します。

IV-4-7-1. カテゴリの追加

カテゴリを追加するには、[コンテンツ管理] ページのサイドバーで [+追加] ボタンを押して [追加] ウィンドウを表示し、新規カテゴリ名を入力します。

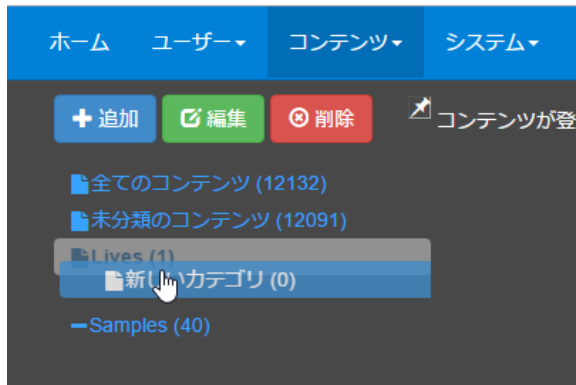


■ カテゴリの追加

サイドバーに表示されているカテゴリリストから、[全てのコンテンツ] または [未分類のコンテンツ] を選択し、[+追加] ボタンを押すと上位カテゴリを持たない最上位のカテゴリを追加できます。[全てのコンテンツ]、[未分類のコンテンツ] 以外のカテゴリを選択し [+追加] ボタンを押すと、[追加] ウィンドウの上位カテゴリ名に選択されているカテゴリ名が表示されます。

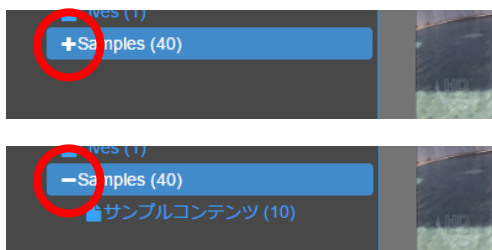
ここで追加される新規カテゴリは、上位カテゴリの下位（子）カテゴリとなります。このようにして、複数のカテゴリを階層化することができます。説明には「ホーム」ページに表示される説明文を入力することができます。

「全てのコンテンツ」、 「未分類のコンテンツ」 は階層化することはできません。



カテゴリリスト上でカテゴリをドラッグして別のカテゴリにドロップすることで、カテゴリの階層を変更することができます。「全てのコンテンツ」または「未分類のコンテンツ」にドロップした場合は、上位カテゴリを持たない最上位のデゴリになります。カテゴリの移動時は、その下位カテゴリも合わせて移動されます。

■ カテゴリ階層の変更

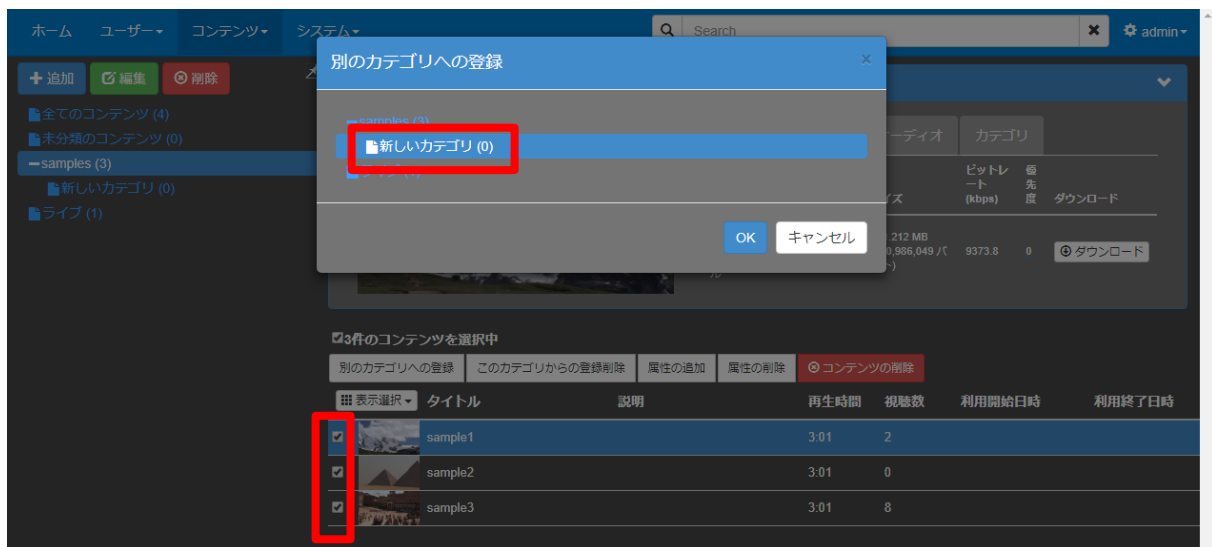


下位カテゴリを持つカテゴリの名前の左側に「+」が表示されている状態で「+」をクリックすると下位カテゴリが展開され、「+」が「-」に変わります。「-」をクリックすると展開された下位カテゴリが折りたたまれます。

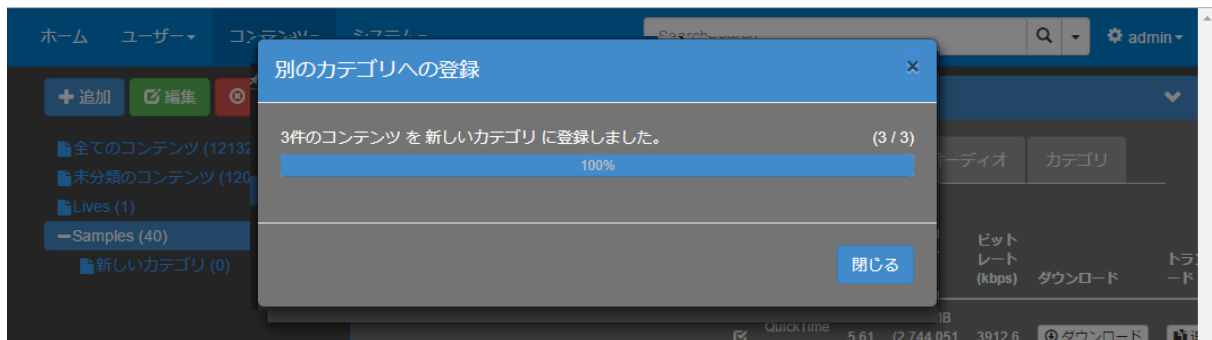
■ カテゴリ階層の開閉

IV-4-7-2. コンテンツのカテゴリへの登録

コンテンツをカテゴリに登録するには、コンテンツリストで登録したいコンテンツのチェックボックスをチェックした後、[別のカテゴリへの登録] ボタンを押して、[別のカテゴリへの登録] ウィンドウを表示します。



[別のカテゴリへの登録] ウィンドウで登録先のカテゴリを選択して [OK] ボタンを押すと、登録処理が開始され、その進捗が表示されます。

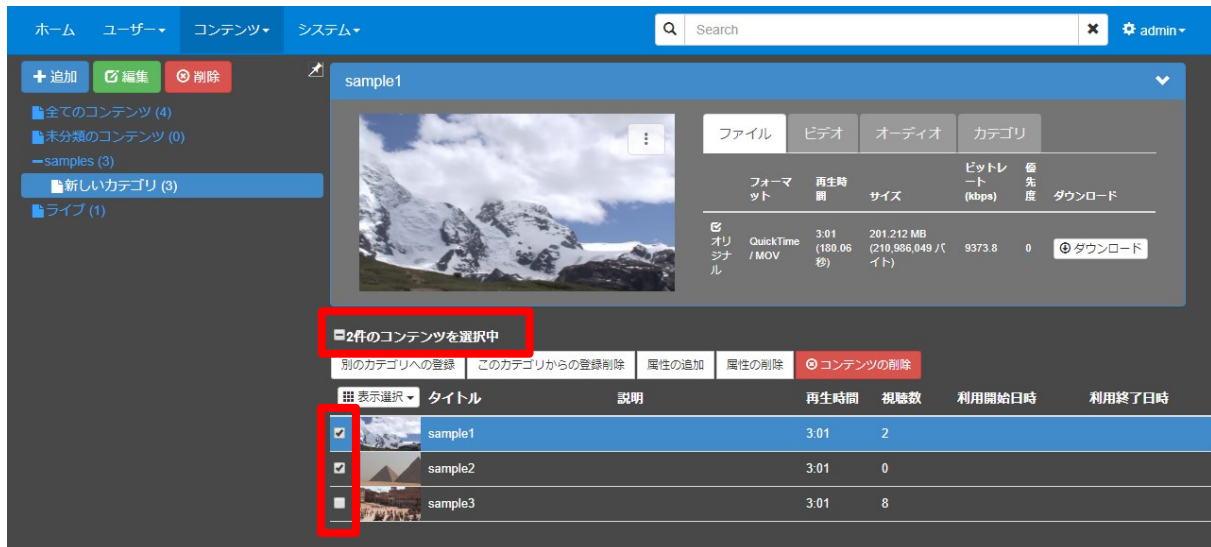


登録処理終了後は、結果を確認し [閉じる] ボタンを押してウィンドウを閉じてください。

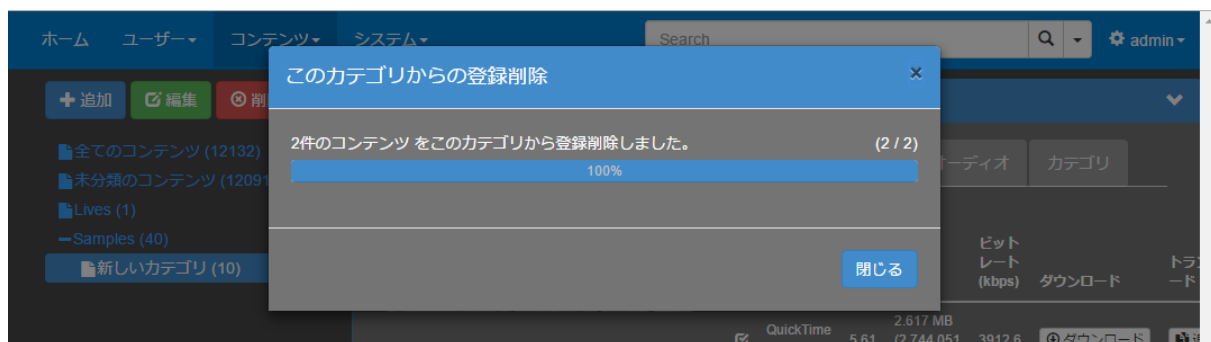
※ [全てのコンテンツ]、[未分類のコンテンツ] に明示的にコンテンツを登録することはできません。

IV-4-7-3. コンテンツのカテゴリからの登録削除

現在選択されているカテゴリからコンテンツの登録を削除するには、コンテンツリストで登録を削除したいコンテンツのチェックボックスをチェックした後、[このカテゴリからの登録削除] ボタンを押します。



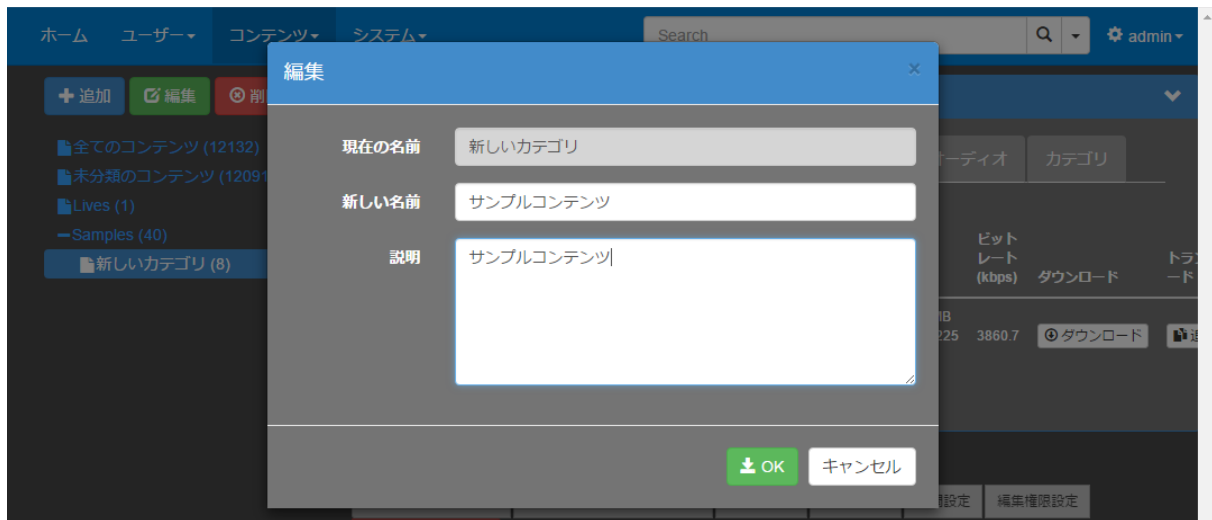
カテゴリからの登録削除処理の進捗を表示するウィンドウが表示されます。



登録削除処理終了後は、結果を確認し [閉じる] ボタンを押してウィンドウを閉じてください。

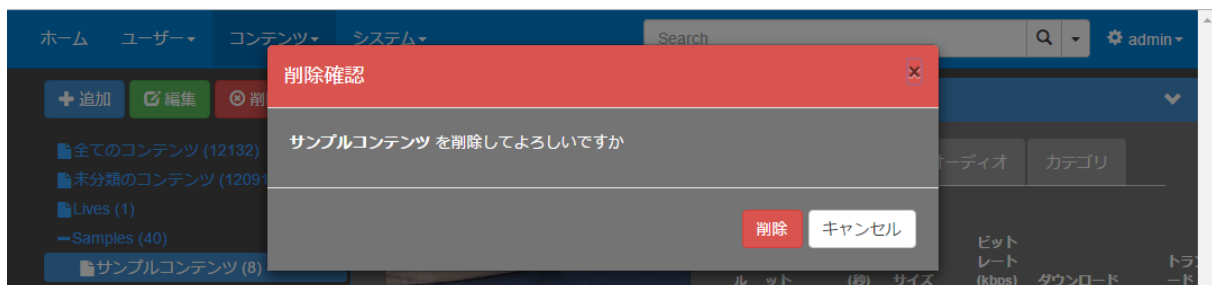
IV-4-7-4. カテゴリの編集

カテゴリリストでカテゴリを選択し「編集」ボタンを押して、カテゴリ名、説明を変更できます。



IV-4-7-5. カテゴリの削除

カテゴリリストでカテゴリを選択し「削除」ボタンを押した後、「削除確認」ウィンドウで「削除」ボタンを押すと、カテゴリが削除されます。

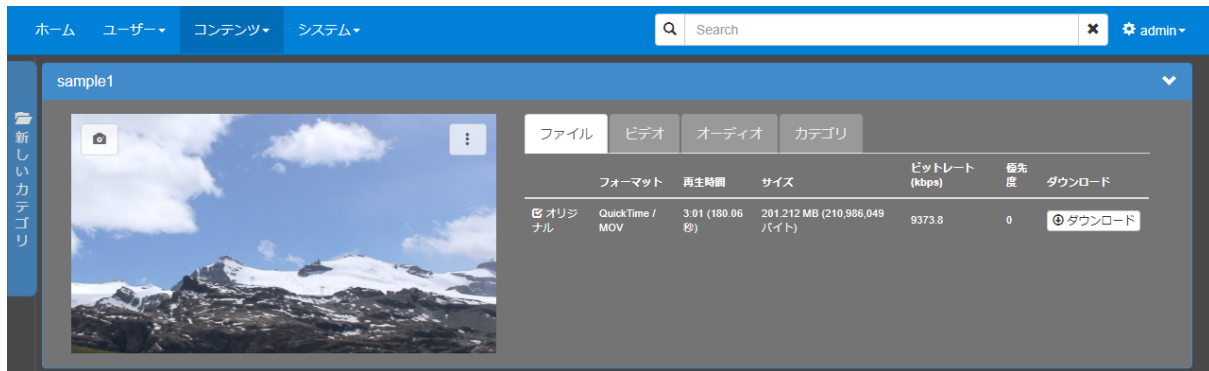




※カテゴリを削除してもカテゴリに所属していたコンテンツは削除されません。


※所属するカテゴリのなくなったコンテンツは自動的に「未分類のコンテンツ」カテゴリに登録されます。

■ IV-4-8. コンテンツの詳細情報

〔コンテンツの詳細〕エリアはサムネイル、タブ及びボタンから成り、以下の表示・操作が可能です。



表示領域	表示・操作
サムネイル	<p>この領域をクリックすると、コンテンツのプレビューを視聴できます。</p> <p> : クリックすると、その時点で再生されていた映像をサムネイルにすることができます。</p> <p> : クリックすると、以下のメニューが開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋め込みコード コンテンツの埋め込みタグを生成・表示します。 別の Web ページでコンテンツを再生させたいときに、このボタンを押して表示されるタグをページの HTML に挿入することで、動画を埋め込むことができます。 ・再生ページ URL コンテンツの再生ページ URL を生成・表示します。
ファイル タブ	VOD コンテンツのファイル情報を表示します。ファイルのダウンロード、トランスコードの操作が可能です。
ビデオ/オーディオ タブ	ファイル・タブで選択されている VOD コンテンツのファイルのビデオ/オーディオのコーデック情報を表示します。
アーカイブ タブ	VOD コンテンツが LTO にアーカイブされている場合、アーカイブ情報を表示します。
ライブ タブ	ライブコンテンツの情報を表示します。また、ライブの録画、トランスコードの操作が可能です。
カテゴリ タブ	コンテンツが登録されているカテゴリを表示します。

優先度	<p>コンテンツが複数のファイルで構成されている場合、優先度の高いものがコンテンツの視聴時に再生されます。優先度を変更するには、優先度の数字の上をクリックし、スライダーで変更します。</p> 
-----	---

■ IV-4-9. コンテンツの検索・ソート

「ホーム」ページ及び「コンテンツ管理」ページのコンテンツリストで、検索機能によって表示するコンテンツを絞り込むことができます。さらに、絞り込んだコンテンツを属性値で昇順/降順にソートすることも可能です。

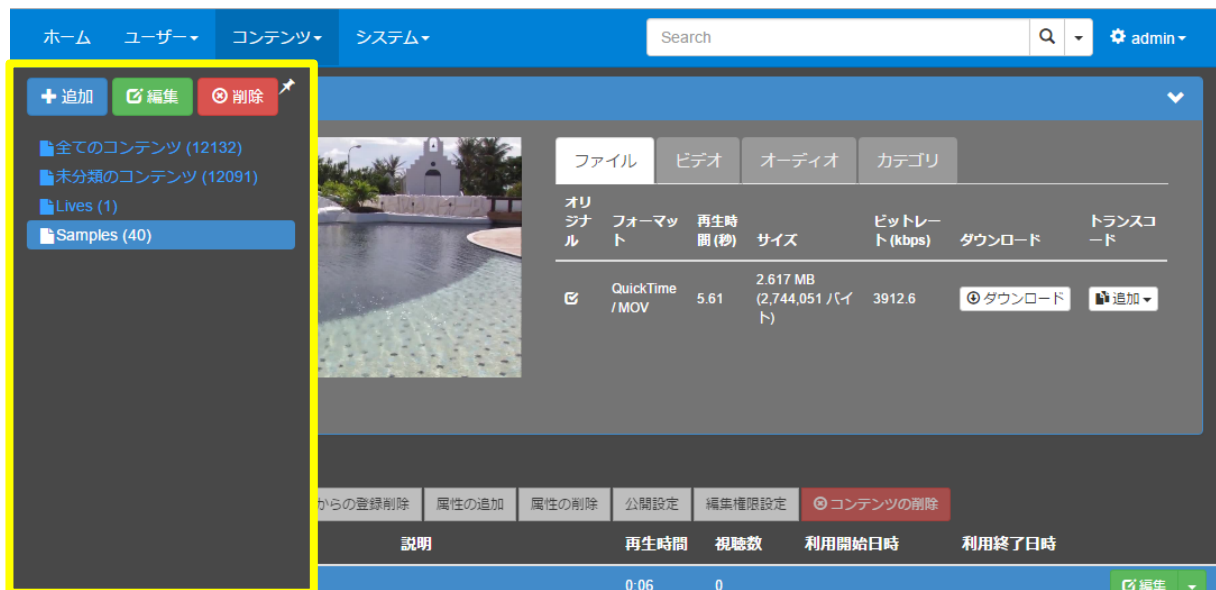
- カテゴリによる検索
- コンテンツの属性による検索
- コンテンツの属性によるソート

IV-4-9-1. カテゴリによる検索

コンテンツをカテゴリに所属させておくことでカテゴリリストからカテゴリを選択してコンテンツリストの内容を絞り込むことができます。以下は「コンテンツ管理」ページの画面ですが、「ホーム」ページでも同様の操作が可能です。



図のようにサイドバーが閉じている場合、サイドバーをクリックするとサイドバーが展開されます。



■ サイドバー（カテゴリ）展開中

サイドバーに表示されているカテゴリリストの中からカテゴリを選択するとコンテンツリストに選択されたカテゴリのコンテンツのみが表示されます。

「全てのコンテンツ」を選択するとカテゴリによる絞り込みが解除され、登録された全てのコンテンツが表示されます。カテゴリは階層構造を持つことができますが、表示されるのは選択中のカテゴリ自体に所属するコンテンツのみであり、その下位カテゴリに所属するコンテンツは表示されません。

※システム設定（[■ IV-7-2 設定]）により「ホーム」ページに「全てのコンテンツ」カテゴリを表示する/しないを切り替えることができます。

※「未分類のコンテンツ」カテゴリは「ホーム」ページには表示されません。

IV-4-9-2. コンテンツの属性による検索

登録されたコンテンツは既定の属性項目として [タイトル]、[説明]、[登録日]、[再生時間]、[視聴数]、[利用開始日時]、[利用終了日時] を持っています。属性項目を追加して、コンテンツに関連付けることもできます。これらの属性を条件としてコンテンツを検索することができます。以下は [ホーム] ページの画面ですが、[コンテンツ管理] ページでも同様の操作が可能です。

■ 全ての属性項目を対象とした検索



メニューバーの検索欄に検索文字列を入力し [Q] ボタンをクリックすることで全ての属性項目を対象に、入力した文字列に部分一致するコンテンツのみを表示します。

■ 指定した属性のみを検索対象とする

指定した属性のみを検索対象として検索することも可能です。

設定はシステム設定 ([■ IV-7-2 検索設定]) で作成することができ、設定には名前を付けることができます。※システム設定 ([■ IV-7-2 検索設定]) を参照

メニューバーの検索欄の右側にある [▼] ボタンから、作成した検索設定をつかって検索することができます。





■ 検索条件設定ウィンドウ（例）：[タイトル]、[説明]、[登録日]を検索対象にした場合

検索条件として、文字列、期間、事前登録された属性値等を指定し、[OK] ボタンを押すと、ウィンドウが閉じた後、指定された全ての条件を満たすコンテンツのみがコンテンツリストに表示されます。

※使用する検索項目の変更方法は「■ IV-7-6 検索設定」を参照してください。

[▼] ボタン⇒[全件表示] を選ぶことで絞り込みが解除され元のコンテンツリストが表示されます。

IV-4-9-3. コンテンツの属性によるソート

【ホーム】ページ及び【コンテンツ管理】ページのコンテンツリストで、属性値によってコンテンツを昇順/降順でソートすることができます。以下は【ホーム】ページの画面ですが、【コンテンツ管理】ページでも同様の操作が可能です。



■ コンテンツリストでの属性によるソート

ソートしたい属性名をクリックすると、属性名の前に [△] が表示され、コンテンツが属性値の昇順にソートされます。再度クリックすると、今度は属性名の前に [▽] が表示され、属性値の降順にソートされます。もう一度クリックすると、[▽] が消え、ソートを実行する前の順序に戻ります。

※属性名の左にある【表示選択】から、リストに表示する列を選択することができます。

■ IV-4-10. コンテンツの削除

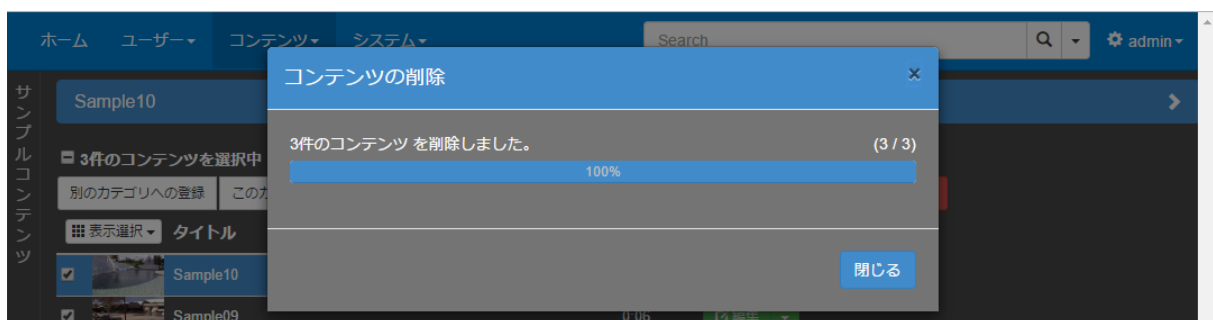
コンテンツの削除は、[コンテンツ管理] ページで行います。



■ コンテンツの一括削除

コンテンツリストの左側にあるチェックボックスで削除するコンテンツを選択し、[コンテンツの削除] ボタンを押すと確認ウィンドウが表示されますので、[削除] ボタンを押してコンテンツの一括削除を開始します。チェックボックスの選択は、リストのページが変わっても解除されないので複数ページにまたがって選択することができます。また、**[コンテンツの削除] ボタンを押すと現在表示されていないリストページでチェックされているコンテンツも全て削除されます。**

コンテンツの削除中は進捗を表示するウィンドウが表示されます。



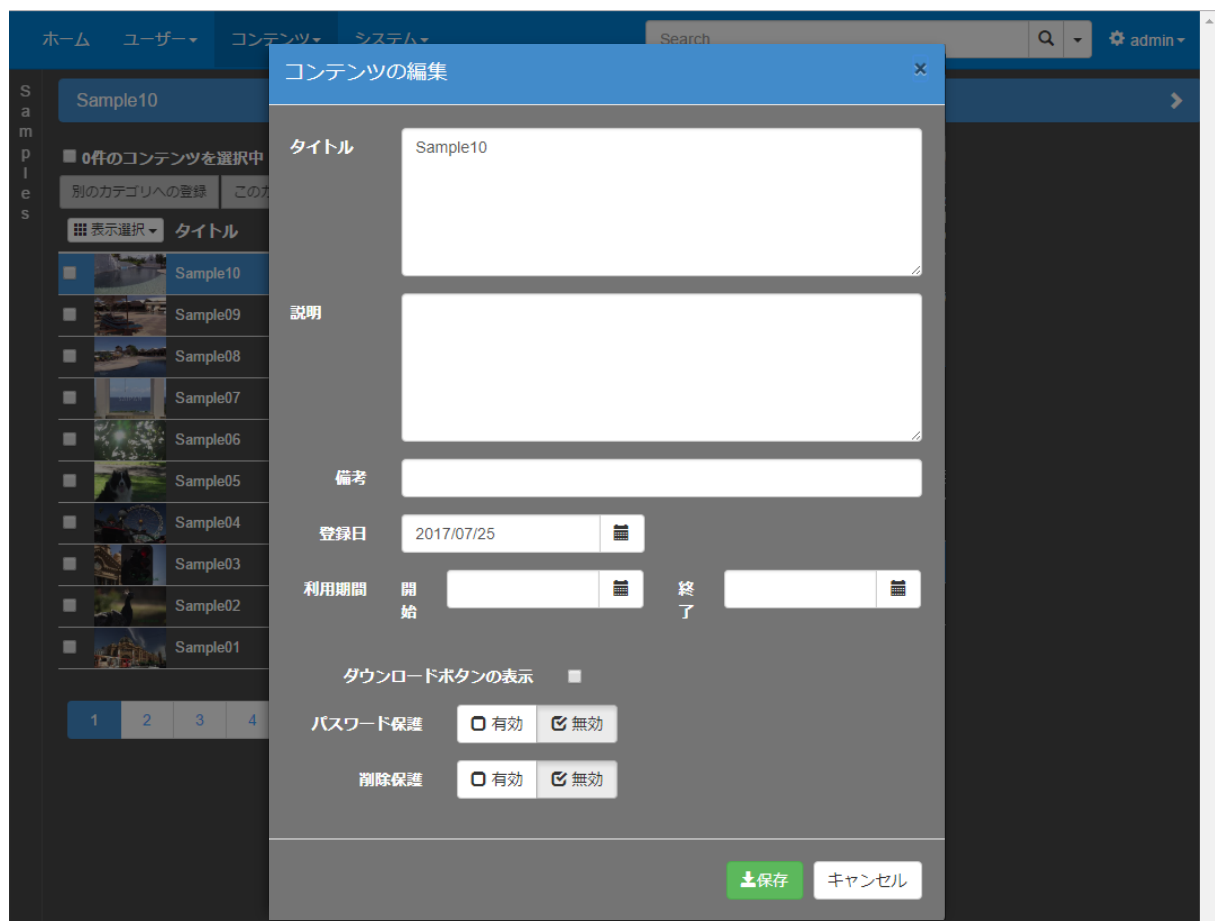
■ コンテンツ削除の進捗ウィンドウ

削除完了後は、結果を確認し [閉じる] ボタンを押してウィンドウを閉じてください。

※削除したコンテンツは元に戻すことができませんので慎重に操作してください。

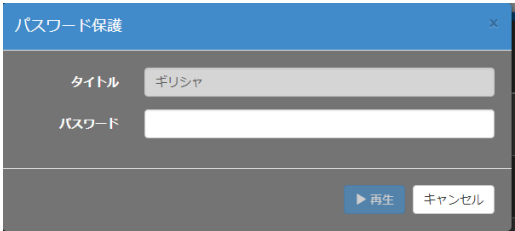
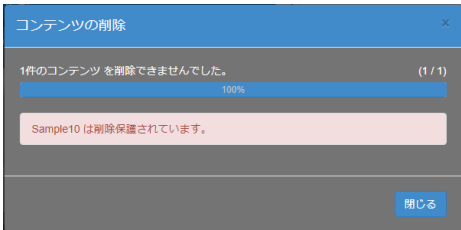
■ IV-4-11. コンテンツの編集

コンテンツリストの右端にある [▼] ボタンのドロップダウンから [編集] を選ぶと [コンテンツの編集] ウィンドウが表示されます。



■ [コンテンツの編集] ウィンドウ

コンテンツの編集で入力できる項目は、以下の通りです。

入力項目	説明
タイトル	255 文字以内。文字制限無し。コンテンツリストに表示されます。
説明	4000 文字以内。文字制限無し。コンテンツリストに表示されます。
備考	127 文字以内。文字制限無し。コンテンツリストに表示されません。
登録日	年月日で指定します。コンテンツリストに表示されません。
利用期間	<p>コンテンツを [ホーム] ページに公開する期間を設定します。[年月日][時分秒]まで指定可能です。</p> <p>開始のみが指定されている場合は、その日時以降は公開され続けます。</p> <p>終了のみが指定されている場合は、その日時までは公開され続けます。</p> <p>両方が指定されている場合は、その期間のみが公開されます。</p> <p>両方が指定されていない場合は、無期限に公開されます。</p>
ダウンロードボタンの表示	<p>[ホーム] ページでのコンテンツのダウンロード可否を設定します。</p> <p>※システム設定で視聴制限設定が無効な場合のみここで設定可能です。</p>
パスワード保護	<p>有効にするとコンテンツごとにパスワードで保護することができ、視聴するときには以下のメッセージが表示され、パスワードが必要となります。</p> 
削除保護	<p>有効にすると削除できないコンテンツに設定可能です。</p> <p>有効にした場合、[コンテンツの削除]を行うと、以下のメッセージが表示され、削除できなくなります。無効にすると、削除可能となります。</p> 

タイトル、説明には表示色を指定することができます。指定した表示色は [ホーム] ページのコンテンツリストに反映されます。[コンテンツ管理] ページのコンテンツリストには反映されませんのでご注意ください。また、タイトルと説明は複数行入力することが可能ですが、同様に [ホーム] ページのコンテンツリストにのみ反映されます。

※選択可能な色の設定は [■ IV-5-6 属性表示色の編集] で変更することができます。

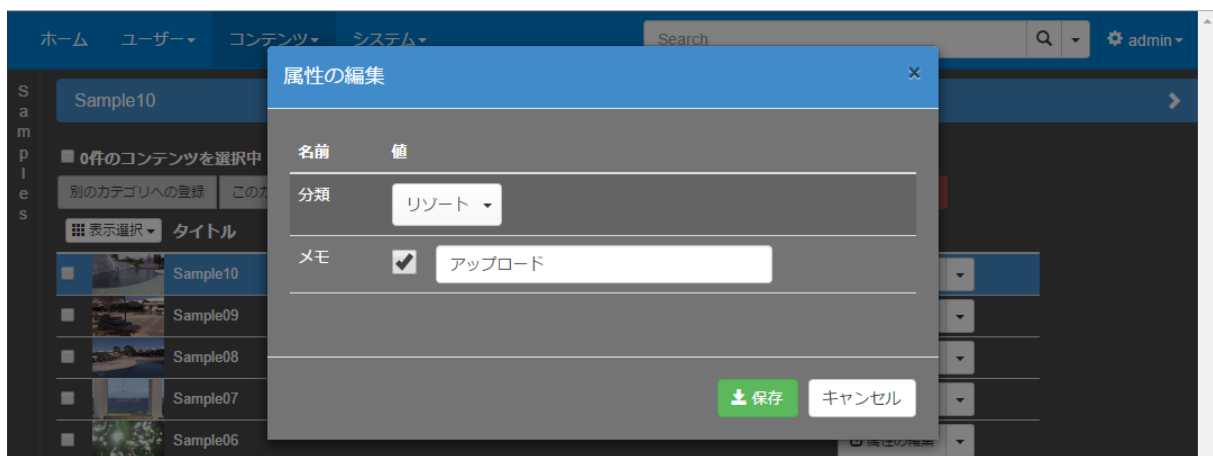
■ IV-4-12. コンテンツの属性の編集

コンテンツリストの右端にある「▼」ボタンのドロップダウンメニューから「属性の編集」を選ぶと、コンテンツに（規定以外の）属性値を設定するウィンドウが表示されます。



以下の例では、属性として追加された「分類」項目と「メモ」項目の値を入力・編集しています。

※属性の項目は属性管理から変更することができます。[IV-5 属性管理]を参照してください。



■ 「属性の編集」ウィンドウ

■ IV-4-13. 添付ファイル

コンテンツリストの右端にある[▼] ボタンのドロップダウンメニューから[添付ファイル]を選ぶとコンテンツに添付ファイルを登録するウィンドウが表示されます。



添付ファイルウィンドウでは、[+追加] ボタンを押しての添付ファイルのアップロード、登録済の添付ファイルのタイトル/説明の変更、登録済の添付ファイルの削除が実行できます。



■ [添付ファイル] ウィンドウ

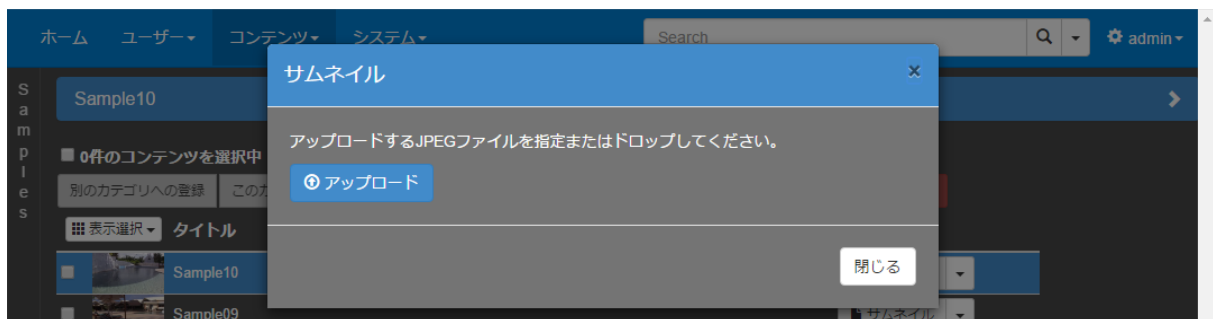
※10MB を越えるサイズのファイルを添付ファイルとして使用することはできません。

■ IV-4-14. サムネイル

コンテンツリストの右端にある[▼] ボタンのドロップダウンメニューから[サムネイル]を選べると、指定された静止画ファイルをアップロードし、コンテンツのサムネイルとして登録するウィンドウが表示されます。



[アップロード] ボタンをクリックし、選択したコンテンツのサムネイルとなる静止画ファイルを指定してください。



■ [サムネイル] ウィンドウ

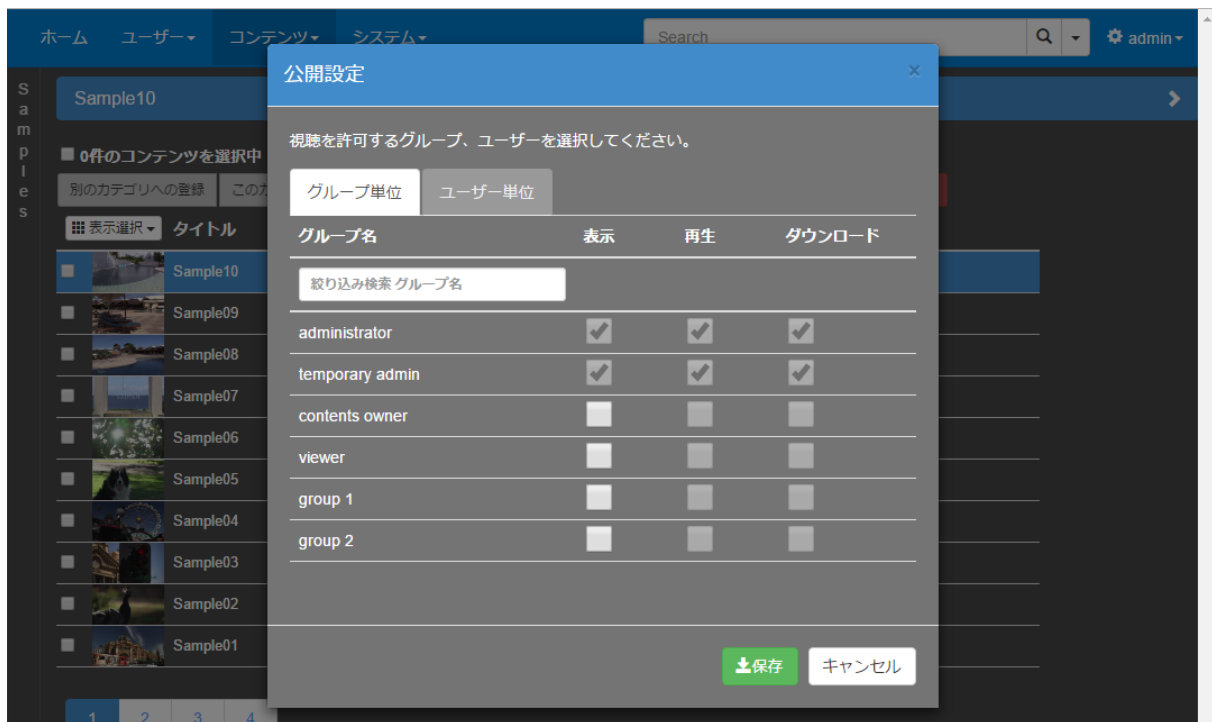
※JPEG 形式の静止画ファイルがサムネイルとして使用できます。

■ IV-4-15. 公開

システム設定（[■ IV-7-2 設定]）で視聴制限設定が有効にされている場合、コンテンツリストの右端にある[▼] ボタンのドロップダウンメニューに「公開」が表示され、このボタンを選ぶとコンテンツ毎に視聴権限（[ホーム] ページにおける権限）を設定するウィンドウが表示されます。



【公開設定】ウィンドウで【グループ単位】タブを選択すると、ユーザーグループ毎に視聴制限を設定することができます。

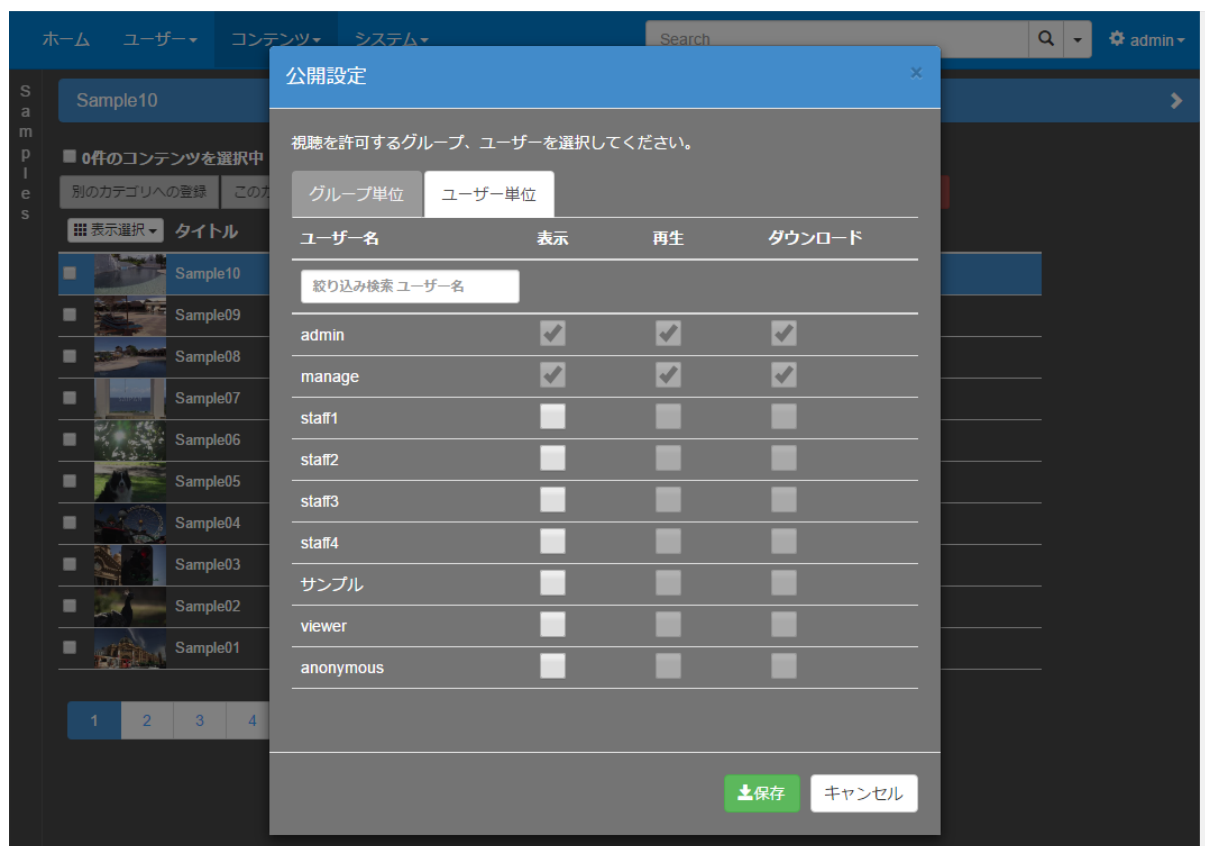


■ 【公開設定】ウィンドウ（グループ単位）

グループ毎に、【表示】、【再生】、【ダウンロード】をチェックする/チェックを外すことで、グループに所属するユーザーの権限（【ホーム】ページでのコンテンツの一覧表示可否、再生可否、ダウンロード可否）を各々設定することができます。

操作説明書

【公開設定】ウィンドウで【ユーザー単位】タブを選択すると、ユーザー毎にコンテンツの視聴権限を設定することができます。



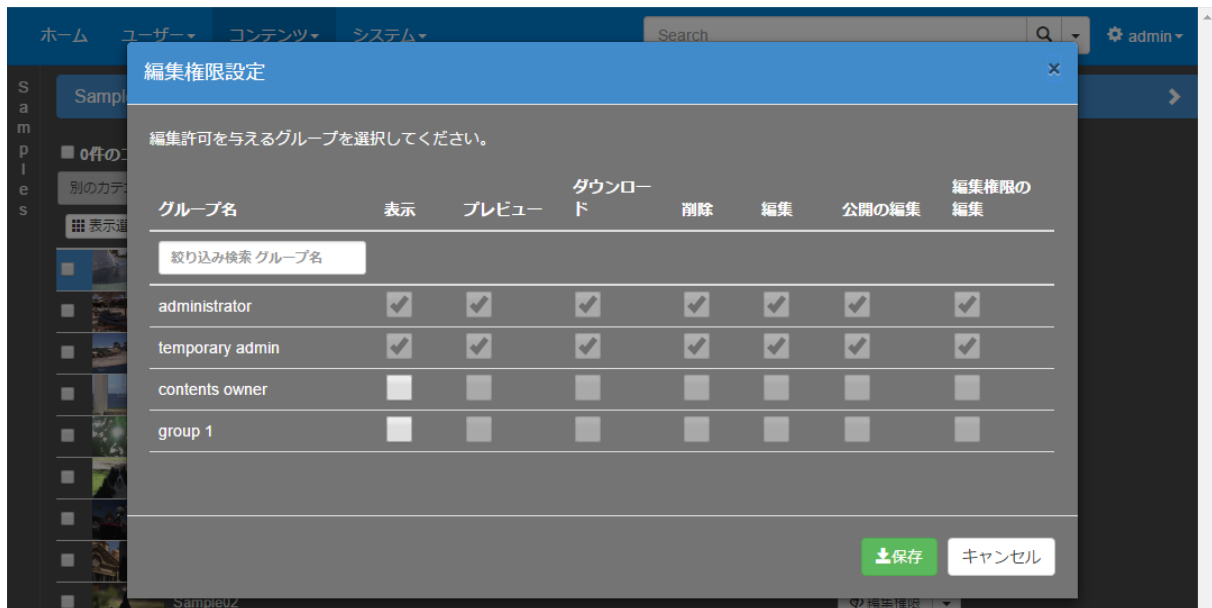
■ 【公開設定】ウィンドウ（ユーザー単位）

■ IV-4-16. 編集権限

システム設定（[■ IV-7-2 設定]）で編集権限設定が有効にされている場合、コンテンツリストの右端にある[▼] ボタンのドロップダウンメニューに[編集権限]が表示され、このボタンを選ぶとグループ毎に編集の権限（[コンテンツ管理] ページにおける権限）を設定するウィンドウが表示されます。



〔編集権限設定〕ウィンドウで、ユーザーグループ毎にコンテンツの編集権限を設定することができます。



■ 〔編集権限設定〕ウィンドウ

〔表示〕、〔プレビュー〕、〔ダウンロード〕、〔削除〕、〔編集〕、〔公開の編集〕、〔編集権限の編集〕をチェックする/チェックを外すことで、グループに所属するユーザーの〔コンテンツ管理〕ページでの対応する操作を許可/禁止することができます。

※ライブコンテンツの場合は〔録画〕権限も設定することができます。

■ IV-4-17. 一括処理

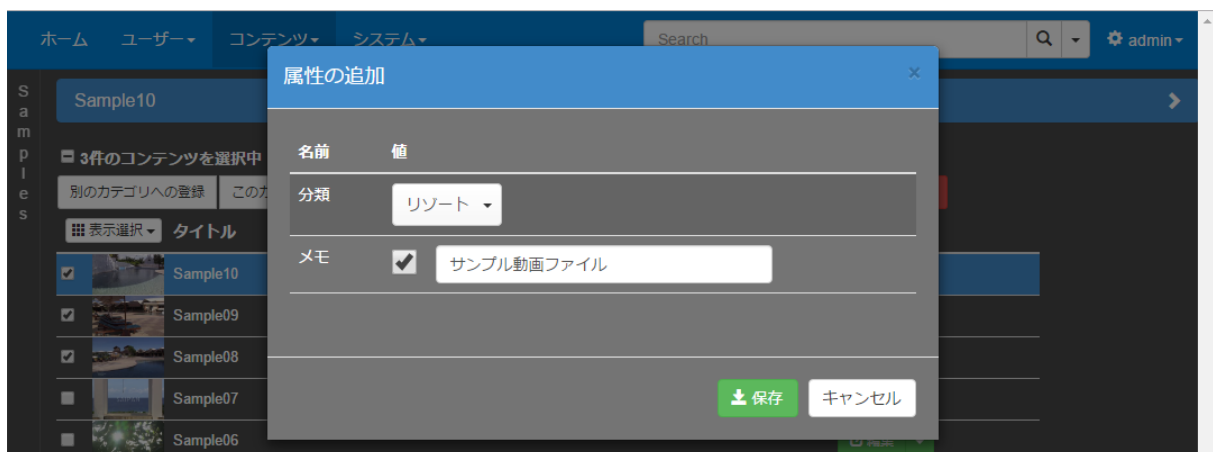
複数のコンテンツに対して、属性の追加/削除、公開設定、編集権限設定を一括で実行することができます。コンテンツリストで処理対象となるコンテンツのチェックボックスをチェック後、処理に対応するボタンを押して実行します。



IV-4-17-1. 属性の追加

コンテンツリストで属性を追加したいコンテンツのチェックボックスをチェックした後「属性の追加」ボタンを押すと「属性の追加」ウィンドウが表示されます。追加したい属性を設定し「保存」ボタンを押してください。

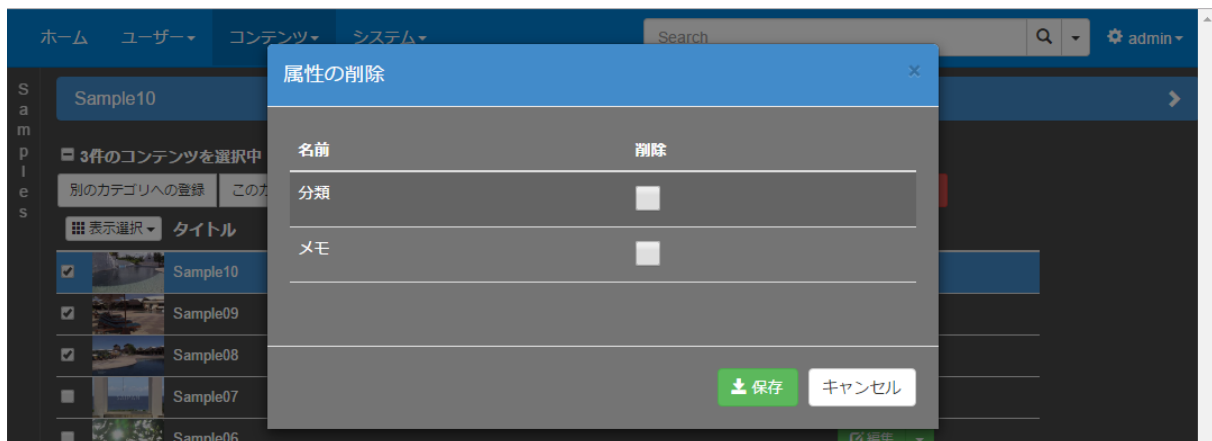
※属性の種類が事前登録（複数）の場合は既存の設定内容に値が追加されます。、事前登録（単数）及び都度入力の場合は既存の設定内容は上書きされますのでご注意ください。



■ 「属性の追加」ウィンドウ

IV-4-17-2. 属性の削除

コンテンツリストで属性を削除したいコンテンツのチェックボックスをチェックした後〔属性の削除〕ボタンを押すと〔属性の削除〕ウィンドウが表示されます。削除したい属性をチェックし〔保存〕ボタンを押してください。



■ 〔属性の削除〕ウィンドウ

IV-4-17-3. 公開設定

コンテンツリストで公開設定を設定したいコンテンツのチェックボックスをチェックし〔公開設定〕ボタンを押すと〔公開設定〕ウィンドウが表示されます。

〔公開設定〕ウィンドウでの設定項目はコンテンツ個別に設定する場合（■ **IV-4-15 公開** を参照ください）と同じです。

※対象となるコンテンツに設定されていた既存の設定内容は上書きされますのでご注意ください。

IV-4-17-4. 編集権限設定

コンテンツリストで編集権限設定を設定したいコンテンツのチェックボックスをチェックした後、〔編集権限設定〕ボタンを押すと、〔編集権限設定〕ウィンドウが表示されます。

〔編集権限設定〕ウィンドウでの設定項目はコンテンツ個別に設定する場合（■ **IV-4-16 編集権限** を参照ください）と同じです。

※対象となるコンテンツに設定されていた既存の設定内容は上書きされますのでご注意ください。

IV-5. 属性管理

ContentManagement 権限を持つユーザーは視聴画面やコンテンツ管理画面で表示される属性の管理を行えます。メニューバーの[コンテンツ]⇒[属性管理]で行います。

属性の管理では以下が行えます。

- 属性の追加
- 属性の編集
視聴画面やコンテンツ管理画面への表示方法
- 属性の削除

ホーム ユーザー コンテンツ システム admin

属性管理

+ 追加 属性表示色の編集

名前	型	種類	値
タイトル	文字列	(既定)	編集
説明	文字列	(既定)	編集
再生時間	数値	(既定)	編集
視聴数	数値	(既定)	編集

■ IV-5-1. 属性について

属性には以下の 2 種類があります。

- 既定の属性：既定の属性です。削除できません。

コンテンツリストの列として表示されないようにすることは可能です。

タイトル	[コンテンツ管理] ページから任意の文字列を設定することができます。
説明	
再生時間	コンテンツの再生時間を表しており、変更することはできません。
視聴数	VOD コンテンツ：そのコンテンツが再生された累計回数 ライブコンテンツ：そのコンテンツの同時視聴者数をリアルタイムに表示します。 値を入力することはできません。
利用開始日時	利用終了日時は [コンテンツ管理] ページから任意の期間を指定することでそのコンテンツが利用できる期間を制限することができます。 (■ IV-4-11 コンテンツの編集)
利用終了日時	

- カスタム属性：管理者によって追加されるものです。

以下の 4 種類の型があります。

型名	説明
数値	15 桁まで。小数点以下は 5 桁まで。
文字列	0-63 文字の文字列です (半角・全角は問いません)
日時	日時を指定できます
期間	期間の開始日時と終了日時を指定します

■ IV-5-2. 属性の種類

属性の種類には、以下があります。

- 事前登録型：管理者が事前に登録しておいた選択肢から選択するもの。

[単数選択]：選択肢のうち選択できるものは1つ

[複数選択]：選択肢のうち複数を選択可能

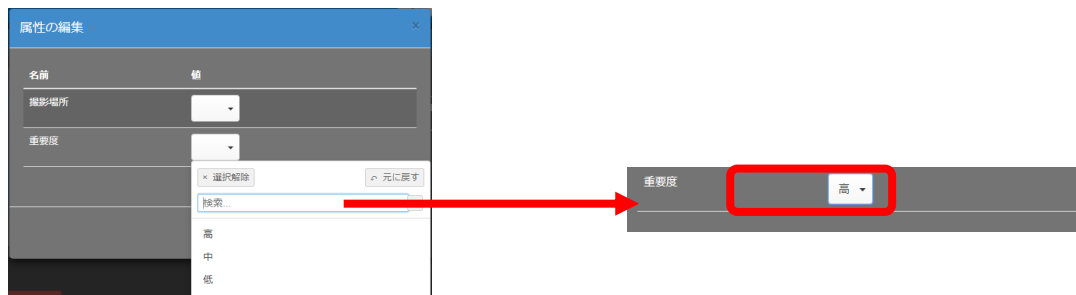
※コンテンツ管理者が選択肢となる値をあらかじめ設定することもできます。

- 入力型：[都度入力] コンテンツ管理者がその都度任意の値を入力するもの。

IV-5-2-1. コンテンツ管理での属性の編集の例

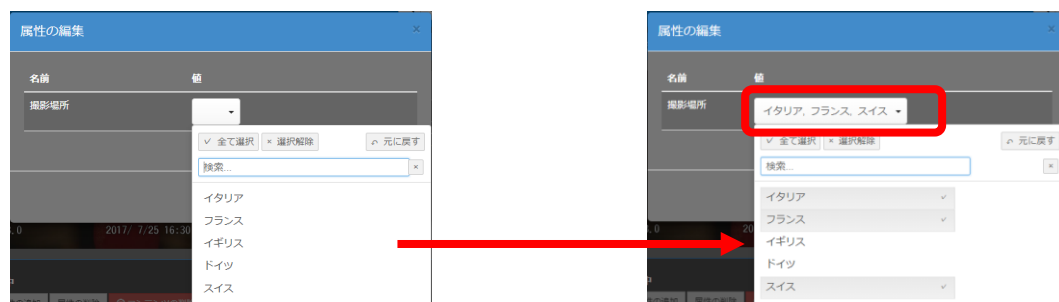
[単数選択]

事前に登録されている選択肢から1つを選択できます。選択した複数の項目がコンテンツの属性値として設定されます。



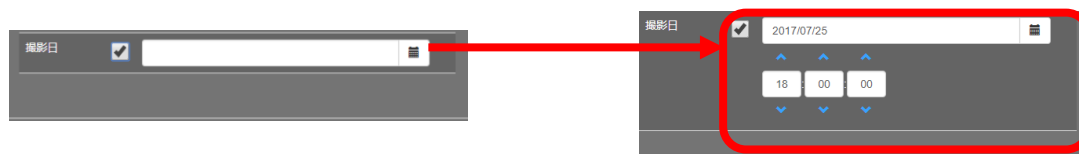
[複数選択]

事前に登録されている選択肢から複数を選択できます。選択した複数の項目がコンテンツの属性値として設定されます。



[都度入力]

その都度入力します。以下は型名に[日時]を設定した場合の例です。



■ IV-5-3. 属性の追加

属性管理ページの上にある「+ 追加」ボタンを押すと次のようなウィンドウが表示され属性を追加することができます。

属性の追加

名前

型

種類

☐ コンテンツの属性の編集時に属性値の編集を許可する

☒ この属性をリストの列として表示する

表示順 表示順の小さいものから左側に表示されます

表示幅 ☐ 固定 ☐ リセット ☒ 初期値

☐ 右寄せで表示

■ 「属性の追加」ウィンドウ

名前には任意の文字列（31 文字まで）を設定してください。

種類が事前登録（複数選択）または事前登録（単数選択）の場合は、「コンテンツの属性の編集時に属性値の編集を許可する」にチェックを入れることで、コンテンツ管理者がコンテンツの属性の値を選択する際にも選択肢を追加することができるようになります。チェックを入れない場合は管理者が設定した選択肢から選ぶのみとなります。

「この属性をリストの列として表示する」にチェックを入れると「ホーム」ページおよび「コンテンツ管理」ページのコンテンツリストに列として属性情報が表示されるようになります。この場合、さらに「表示順」、「表示幅」、「右寄せで表示」を指定することができます。

項目	説明
表示順	値の小さいものから順にコンテンツリストの左側に表示されます。 ※新規作成時は 100 に設定されます。
表示幅	コンテンツリスト内での表示幅を指定します。 [固定] : 常に指定した表示幅で表示します。 [リセット] : ページを表示するたびに指定した表示幅にリセットします。表示後はユーザー操作により幅の変更が可能です。 [初期値] : ページを初めて表示するときの表示幅を指定します。ユーザー操作により幅が変更された後はその値を記憶します。
右寄せで表示	「ホーム」ページに表示する時、右寄せで表示します。 ※「コンテンツ管理」ページには反映されません。

■ IV-5-4. 属性の編集

属性管理ページの属性一覧の中から任意の属性の「編集」ボタンを押すとその属性情報を編集することができます。

属性の編集

名前

分類

型

文字列

種類

事前登録 (複数選択)

■ コンテンツの属性の編集時に属性値の編集を許可する

☒ この属性をリストの列として表示する

表示順

100

表示順の小さいものから左側に表示されます

表示幅

200

☐ 固定
☐ リセット
☒ 初期値

■ 右寄せで表示

適用

属性値の編集

2件

値

(new value)

+ 追加

動物

閉じる

■ 「属性の編集」ウィンドウ

型と種類は後から変更することができません。これらの設定を誤って追加した場合には一旦属性を削除して再度追加してください。種類が事前登録の属性の場合は属性値の追加・編集・削除もここから行うことができます。

IV-5-4-1. 属性値の追加

事前登録型の場合、属性値を追加するには[属性値の編集] 欄の値のドロップダウンから [(new value)] を選択した状態にしてください。この状態でその下にある入力欄に値を入力して [追加] ボタンを押すと [値] のドロップダウンの中に新しい値が追加されます。

The screenshot shows the '属性値の編集' (Edit Attribute Value) interface. At the top, there is a blue header bar with the text '属性値の編集' on the left and '2件' (2 items) on the right. Below the header, there is a section labeled '値' (Value). It contains a dropdown menu with the text '(new value)' and a green button with a plus sign and the text '+ 追加' (Add). Below the dropdown menu, there is a text input field containing the text '動物' (Animal).

IV-5-4-2. 属性値の編集

The screenshot shows the '属性値の編集' (Edit Attribute Value) interface. At the top, there is a blue header bar with the text '属性値の編集' on the left and '3件' (3 items) on the right. Below the header, there is a section labeled '値' (Value). It contains a dropdown menu with the text '動物' (Animal). To the right of the dropdown menu, there are two buttons: a white button with a copy icon and the text 'コピー' (Copy), and a red button with a delete icon and the text '削除' (Delete). Below the dropdown menu, there is a text input field containing the text '動物' (Animal).

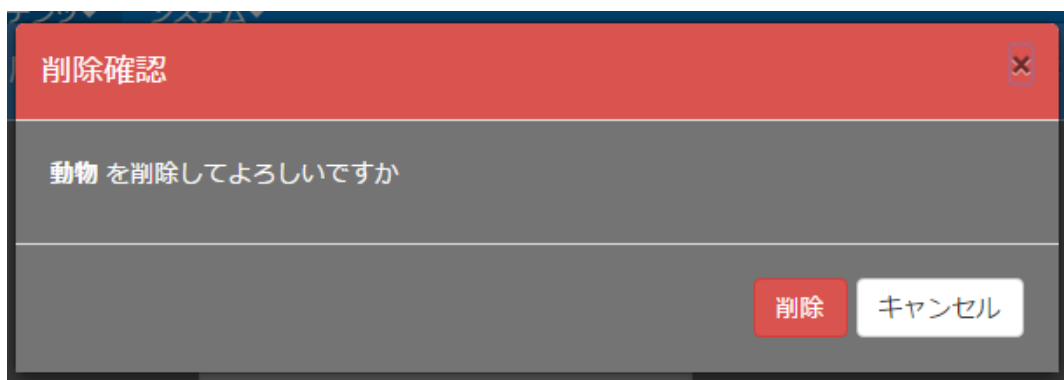
既存の属性値の内容を編集するには[属性値の編集] 欄の [値] のドロップダウンから編集対象の値を選択します。その下の入力欄で値を編集すると [適用] というボタンが表示されるのでそれを押すと変更が保存されます。

The screenshot shows the '属性値の編集' (Edit Attribute Value) interface. At the top, there is a blue header bar with the text '属性値の編集' on the left and '3件' (3 items) on the right. Below the header, there is a section labeled '値' (Value). It contains a dropdown menu with the text '動物' (Animal). To the right of the dropdown menu, there are two buttons: a green button with a checkmark icon and the text '適用' (Apply), and a white button with a circular arrow icon and the text '元に戻す' (Reset). Below the dropdown menu, there is a text input field containing the text '小動物' (Small Animal).

IV-5-4-3. 属性値の削除



既存の属性値を削除するには「属性値の編集」欄の「値」のドロップダウンから削除したい値を選択します。ここでその下の入力欄を編集せずに「削除」ボタンを押すと確認メッセージが表示され「削除」ボタンを押すと属性値が削除されます。



■ IV-5-5. 属性の削除

属性を削除するには属性一覧から削除対象の属性の行にある[削除]ボタンを押してください。

The screenshot shows the '属性管理' (Attribute Management) page. At the top, there are navigation tabs: ホーム, ユーザー, コンテンツ, システム. The user is logged in as 'admin'. Below the tabs, there are two buttons: '+ 追加' and '属性表示色の編集'. The main table lists attributes with columns: 名前, 型, 種類, 値. The '分類' (Classification) attribute is highlighted with an orange circle around its '削除' (Delete) button.

名前	型	種類	値	操作
タイトル	文字列	(既定)		編集
説明	文字列	(既定)		編集
再生時間	数値	(既定)		編集
視聴数	数値	(既定)		編集
利用開始日時	日時	(既定)		編集
利用終了日時	日時	(既定)		編集
分類	文字列	事前登録 (複数選択)	植物	編集 削除
メモ	文字列	都度入力		編集 削除

確認メッセージが表示され[削除]ボタンを押すと削除されます。

The screenshot shows a '削除確認' (Delete Confirmation) dialog box. The title bar is red with a close button. The main text asks '分類 を削除してよろしいですか'. At the bottom right, there are two buttons: '削除' (Delete) and 'キャンセル' (Cancel).

※ (既定) の属性を削除することはできません。

■ IV-5-6. 属性表示色の編集

属性管理ページの上にある「属性表示色の編集」ボタンを押すと次のようなウィンドウが表示され「ホーム」ページでコンテンツリスト内に表示される属性値の表示色を編集することができます。

※ログインユーザーの権限によっては表示されない場合があります。

カラーコード	削除
white	削除
cyan	削除
magenta	削除
yellow	削除
lime	削除
gold	削除
pink	削除
#92c44f	削除
#ffff80	削除
#76c5de	削除

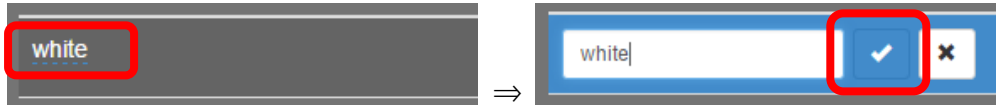
1 2

保存 キャンセル

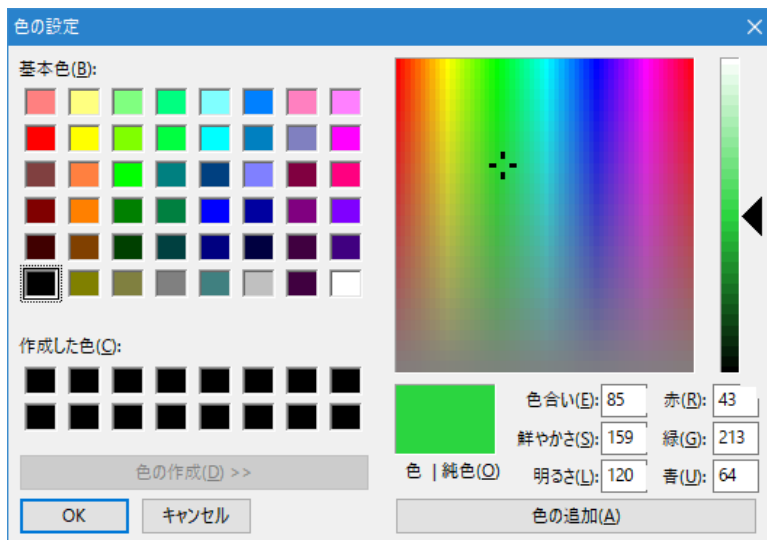
ここで設定された色は「■ IV-4-11 コンテンツの編集」からコンテンツのタイトル、説明の表示色として使用することができます。

リストに表示されている「カラーコード」をクリックすると入力欄が開き、RGB カラーコードまたは色の名前を入力することができます。

※色の名前はブラウザによってはサポートされていない場合があります。



変更後、[✓] をクリックすることで確定します。また「削除」ボタンの左側にあるボタンをクリックすることでカラーパレットから色を選択することができます。



リストの右側にある「削除」ボタンをクリックすることで該当する色を削除することができます。

編集後は「保存」ボタンを押して変更内容を保存してください。

IV-6. コンテンツの視聴とダウンロード

■ IV-6-1. コンテンツリストの表示

視聴権限を持ったユーザーはメニューバーの「ホーム」のリンクからコンテンツ視聴のページに移動することができます。この画面からコンテンツの検索・ソート（[■ IV-4-9 コンテンツの検索・ソート] を参照ください）と視聴・ダウンロードを行うことができます。

ホーム

ユーザー▼

コンテンツ▼

システム▼

Q

▼

admin▼

▶ 全件再生

表示選択▼

サンプルコンテンツ

サンプルコンテンツ

	タイトル	説明	再生時間	視聴数	利用開始日時	利用終了日時
▶再生 0:06	Sample10		0:06	0		
▶再生 0:06	Sample09		0:06	0		
▶再生 0:09	Sample08		0:09	0		
▶再生 0:11	Sample07		0:11	0		
▶再生 0:08	Sample06		0:08	0		

サンプルコンテンツ

■ IV-6-2. コンテンツの視聴（1件再生）

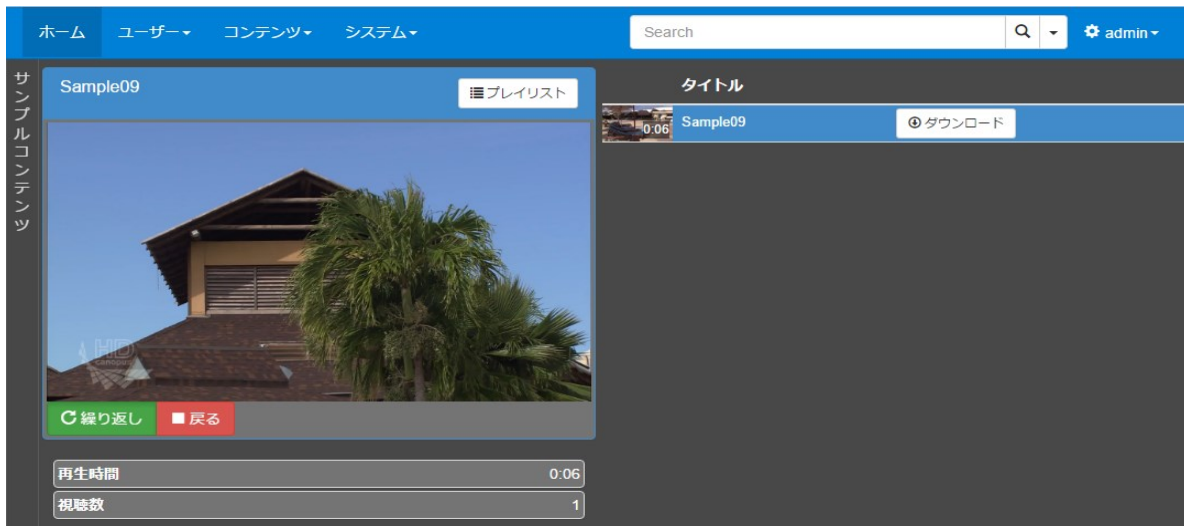
一件のコンテンツを再生させる場合は、リストのサムネイル中の再生ボタンを押すかリストから該当する行をクリックして選択し（背景色が青色になる）上部の「1件再生」ボタンを押します。



■ リストからサムネイルをクリック



■ リストから再生したい行を選択（1件）



■ 映像再生画面

■ IV-6-3. コンテンツの視聴（複数再生）

複数のコンテンツを順に再生させる場合は、リストから該当する行を複数クリックして選択し（背景が青色になる）上部の【○件再生】ボタンを押すと、選択した順番に再生されます。

※○は選択した数

選択した順番は、行の左端に表示されます。



再生時間	視聴数	利用開始日時	利用終了日時
0:06	0		
0:06	10		
0:09	0		
0:11	0		
0:08	0		

選択を解除するには選択済みの行を再度クリックしてください。一度に全ての選択を解除するには【選択クリア】ボタンを押してください。



再生時間	視聴数	利用開始日時	利用終了日時
0:06	0		
0:06	10		
0:09	0		

■ IV-6-4. コンテンツの視聴（全件再生）

現在選択されているカテゴリに登録されているコンテンツ数が 100 件以下の場合は、[全件再生] ボタンが表示されます。[全件再生] ボタンを押すと、コンテンツがリストの上から順番に再生されます。

The screenshot shows the MEDIAEDGE Multi-Device Server interface. At the top, there is a navigation bar with links for 'ホーム' (Home), 'ユーザー' (User), 'コンテンツ' (Content), and 'システム' (System). A search bar and a user profile 'admin' are also present. Below the navigation bar, a sidebar on the left contains a vertical list of 'サンプルコンテンツ' (Sample Content). The main area displays a table of sample content. A red box highlights the '▶ 全件再生' (▶ Full Playback) button in the top left corner of the content list. The table has columns for '再生時間' (Playback Time), '視聴数' (View Count), '利用開始日時' (Start Date/Time), and '利用終了日時' (End Date/Time). The content items are labeled 'Sample01' through 'Sample05'.

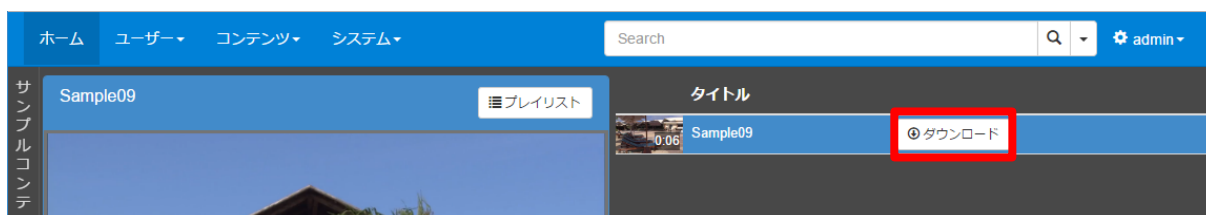
再生時間	視聴数	利用開始日時	利用終了日時
0:06	0		
0:05	0		
0:06	0		
0:05	0		
0:05	0		

■ IV-6-5. コンテンツ又は添付ファイルのダウンロード

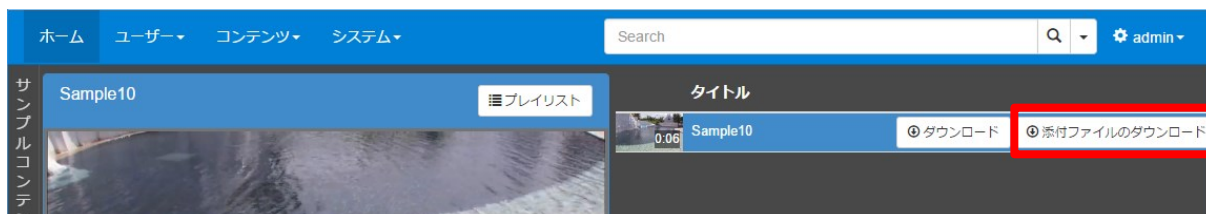
ログイン中のユーザーにダウンロード権限が与えられているコンテンツであれば、そのコンテンツの視聴画面の［プレイリスト］内に［ダウンロード］ボタンが表示されます。このボタンを押すとリストに表示されている映像ファイルをダウンロードできます。

［プレイリスト］が表示されていない場合は、［プレイリスト］ボタンをクリックして［プレイリスト］の表示状態を切り替えてください。

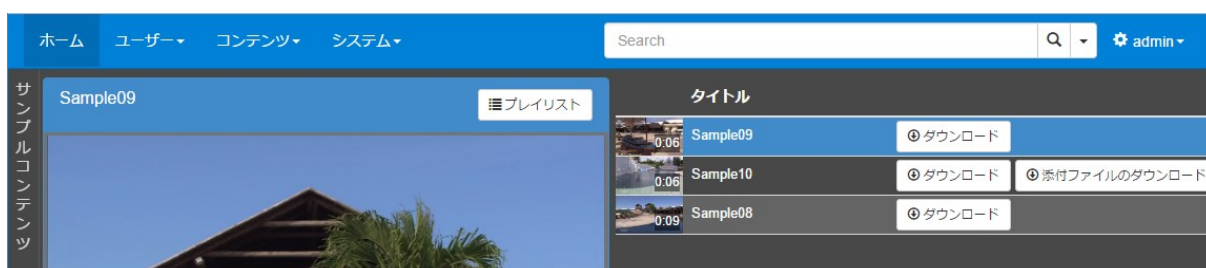
※ダウンロード権限が無い場合はこのボタンは表示されません。



コンテンツに添付ファイルが登録されている場合は［添付ファイルのダウンロード］ボタンも表示されます。このボタンを押すと添付ファイルをダウンロードできます。



複数のコンテンツを選択した場合はコンテンツ毎にダウンロードボタンが表示されます。

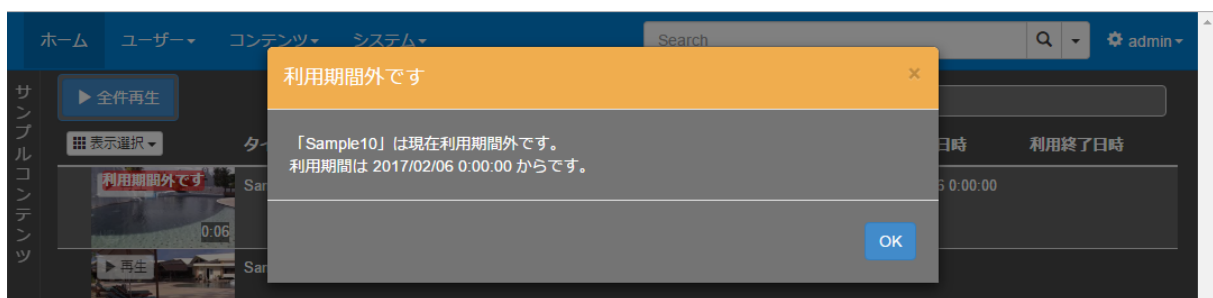


■ IV-6-6. 利用期間外のコンテンツ

システム設定（[■ IV-7-2 設定]）で利用期間外のコンテンツを表示するように設定されている場合は「ホーム」ページに利用期間外のコンテンツが表示されます。



利用期間外のコンテンツをクリックした場合、メッセージが表示されコンテンツを再生することはできません。



IV-7. システム

メニューバーの「システム」カテゴリの各ページについて説明します。

■ IV-7-1. 状態

ログの取得とサーバーの各種状態を表示します。

ホーム ユーザー コンテンツ システム admin

状態

④ ログの取得

バージョン情報

データベース	rev.19.00
アプリケーション	rev.12345

ディスク容量

容量	空き容量
2,860,793 MB	1,213,708 MB

ジョブ

	待機中	実行中	延期
transcoding	0	0	0

「ログの取得」をクリックするとサーバーのログを zip 形式でアーカイブしたファイルをダウンロードできます。当社サポートにお問い合わせの際にはこのログファイルを添付していただきますと状況把握がスムーズになります。

「バージョン情報」欄に本システムのバージョン情報が表示されます。データベースバージョンとアプリケーションバージョンがあります。

「ディスク容量」に本システムがデータ管理に使用しているストレージドライブの容量と空き容量情報が表示されます。大きなファイルを追加する際や大量のファイルを追加する際には空き容量が十分にあるかどうかを確認してください。

「ジョブ」欄にはトランスコード処理またはアーカイブ処理（アーカイブオプションが有効の場合）の進行状況が表示されます。待機中や延期されたジョブ数が増えていく場合は何らかの機

材トラブルが発生している可能性がありますので当社サポートにお問い合わせください。

また、何らかの異常状態を検出するとこのページに警告やエラー情報が表示されます。

ホーム ユーザー コンテンツ システム ⚠ 2件 ⚙ admin

状態

📄 ログの取得

バージョン情報

データベース	rev.19.00
アプリケーション	rev.12345

警告

日時	重要度	分類	メッセージ
2016/08/23 17:12:55	warn	archive server	Free space on the LTO media is low.
2017/01/19 17:52:56	error	replication slave	an error occurred while synchronizing files. please contact the system administrator.

ディスク容量

容量	空き容量
2,860,793 MB	1,213,503 MB

ジョブ

	待機中	実行中	延期
transcoding	0	0	0

警告/エラーの件数はメニューバーにも表示され、メニューバーの警告/エラーの件数表示をクリックすると、状態ページに移動します。

■ IV-7-2. 設定

システムの設定項目を編集できます。

ホーム ユーザー コンテンツ システム admin

設定

設定

ブランド

認証方式 ☒ ローカル認証 ☐ LDAP 認証

視聴制限設定 ☐ 無効 ☒ 有効

編集権限設定 ☐ 無効 ☒ 有効

埋め込みコード ホスト名

視聴ページで「全てのコンテンツ」カテゴリを表示 ☐ 非表示 ☒ 表示

利用期間外のコンテンツ (期間前) ☐ 非表示 ☒ 表示

利用期間外のコンテンツ (期間後) ☐ 非表示 ☒ 表示

自動書き込みLTOサーバー IPアドレス 192.168.11.5 パスワード

LDAP 認証の設定 >

変更を反映させるには、[適用] ボタンをクリックし [確認] ウィンドウで [Yes] をクリックしてください。

設定項目名	説明
ブランド	メニューバーの左端に表示される [ホーム] ページへのリンクの文字列を指定します。空欄になっている場合は「ホーム」と表示されます。
認証方式	ローカル認証または LDAP 認証（■ IV-3-8 LDAP 認証の設定 を参照ください）を選択します。
視聴権限設定	有効にするとユーザーグループまたはユーザー毎に [ホーム] ページに表示されるコンテンツを設定することができます。設定は [コンテンツ管理] ページで行うことができます。
編集権限設定	有効にするとユーザーグループ毎に [コンテンツ管理] ページで操作できる権限を設定することができます。権限の設定は [コンテンツ管理] ページで行うことができます。
埋め込みコードのホスト名	[コンテンツ管理] ページで発行する埋め込みコード内に使用されるホスト名を指定します。空欄であれば現在アクセス中の URL 中のホスト名が使用されます。
視聴ページで「全てのコンテンツ」カテゴリを表示	[ホーム] ページに「全てのコンテンツ」カテゴリを表示する/しないを設定します。非表示にしている場合はコンテンツを登録後に何らかのカテゴリに登録するまでそのコンテンツは [ホーム] ページに表示されません。
利用期間外のコンテンツ (期間前)	コンテンツに [利用期間] が設定されている場合に、まだ利用期間になっていないコンテンツを [ホーム] ページに表示する/しないを設定します。
利用期間外のコンテンツ (期間後)	コンテンツに [利用期間] が設定されている場合に、既に利用期間を過ぎてしまっているコンテンツを [ホーム] ページに表示する/しないを設定します。
自動書き込み LTO サーバー	ライブ映像の録画時や VOD コンテンツのアップロード時に自動的にアーカイブも実行する様に設定されている場合、書き込み先としてここで指定された LTO サーバーを使用します。 ※この機能はアーカイブオプションが有効の場合のみ表示されます。

■ IV-7-3. 操作履歴

操作履歴を日時の降順で表示します。また、期間・操作内容・コンテンツ名・ユーザー名を指定して操作履歴を絞り込むことができます。

日時	操作	コンテンツ	ユーザー
2018/09/27 18:29:54	再生	Sample06	admin
2017/01/19 16:37:30	再生	Sample10	admin
2017/01/19 16:18:40	再生	Sample09	admin
2017/01/19 13:10:18	コンテンツ削除	Sample08	admin
2017/01/19 13:10:17	コンテンツ削除	Sample09	admin

■ IV-7-4. イベントログ

システムで発生したイベントを日時の降順で表示します。また、期間を指定してイベントログを絞り込むことができます。

日時	重要度	分類	イベント
2017/01/18 19:44:23	info	server	Recording of "MEDIAEDGE-CLEB" has created the content "MEDIAEDGE-CLEB 512kbps変換 (2017-01-18 19:16:03)" successfully.
2017/01/18 19:16:04	info	server	Recording of "MEDIAEDGE-CLEB" has started successfully.
2017/01/18 19:03:37	info	server	Express server listening on 1337, in development mode
2017/01/18 9:53:35	info	server	Express server listening on 1337, in development mode

■ IV-7-5. LTO

アーカイブオプションが有効の場合に表示されます。

The screenshot shows the LTO management interface. At the top, there is a navigation bar with links: ホーム, ユーザー, コンテンツ, システム, and a user profile icon labeled 'admin'. Below the navigation bar, the main heading is 'LTO'. Underneath, there is a sub-header 'LTO' with a dropdown arrow. The main content area displays the following information:

LTO 空き容量 1.970 TB

メディアID: LTR189L6 タイトル: test2

Buttons: 取り出し, フォーマット, タイトル設定

メディア ID	タイトル	登録日		
LTR189L6	test2	2016/11/07 13:30:36	アーカイブ済みコンテンツ一覧	テープの廃棄
LTR188L6	test	2016/08/23 15:59:04	アーカイブ済みコンテンツ一覧	テープの廃棄

LTO ページではLTO サーバーに対してテープの取り出し、フォーマットを行うことができます。

IV-7-5-1. テープのフォーマット

新しいテープを使用する際には、まず、テープのフォーマットを実行してください。

【フォーマット】ボタンを押して、以下のウィンドウでテープ情報を入力後、【開始】ボタンを押して下さい。【メディアID】には、通常、テープのラベルの先頭 6 文字を設定します。タイトルにはメディアIDとは別に任意の文字列を設定することができます。



■ 【フォーマット】ウィンドウ

IV-7-5-2. テープ一覧

操作ボタンの下にはこれまで使用したテープ情報の一覧が表示されます。

過去に利用したテープに書き込まれたコンテンツのリストを【アーカイブ済みコンテンツ一覧】ボタンで表示することができます。

【テープの破棄】ボタンを押すと、指定されたテープにアーカイブされているコンテンツの情報及びテープ自体の情報を削除します。

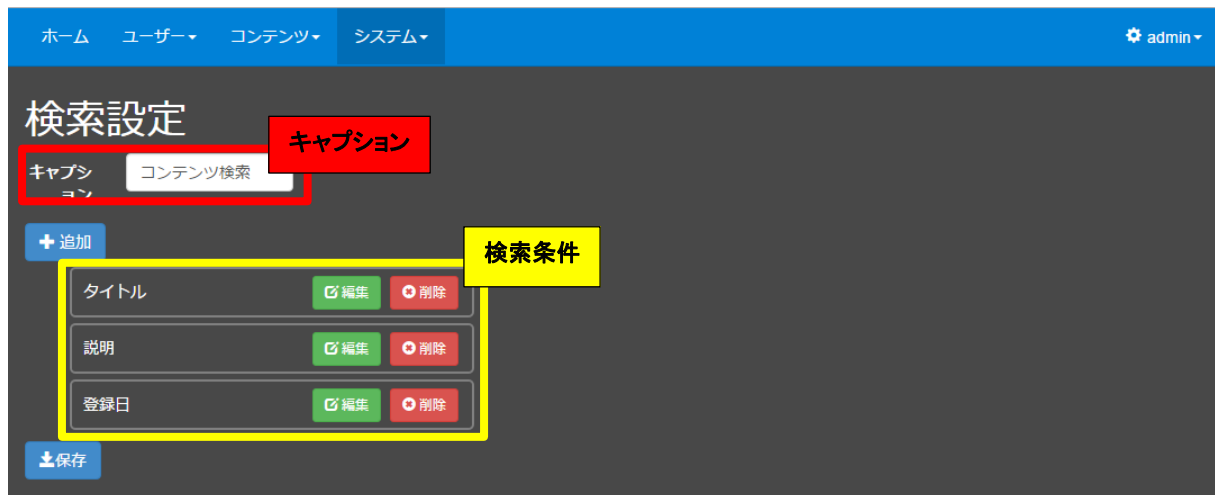
IV-7-5-3. テープの取り出し

ページの上部には現在挿入されているテープの空き容量が表示されます。空き容量が少なくなってきた、または完全に無くなった場合には【取り出し】ボタンから一杯になったテープを取り出して新しいテープを LTO サーバーに挿入してください。

■ IV-7-6. 検索設定

「ホーム」ページまたは「コンテンツ管理」ページでコンテンツ検索を実行する際に表示される検索設定を作成します。

検索設定を行うと、登録した属性（複数可）を検索対象にして検索できます。



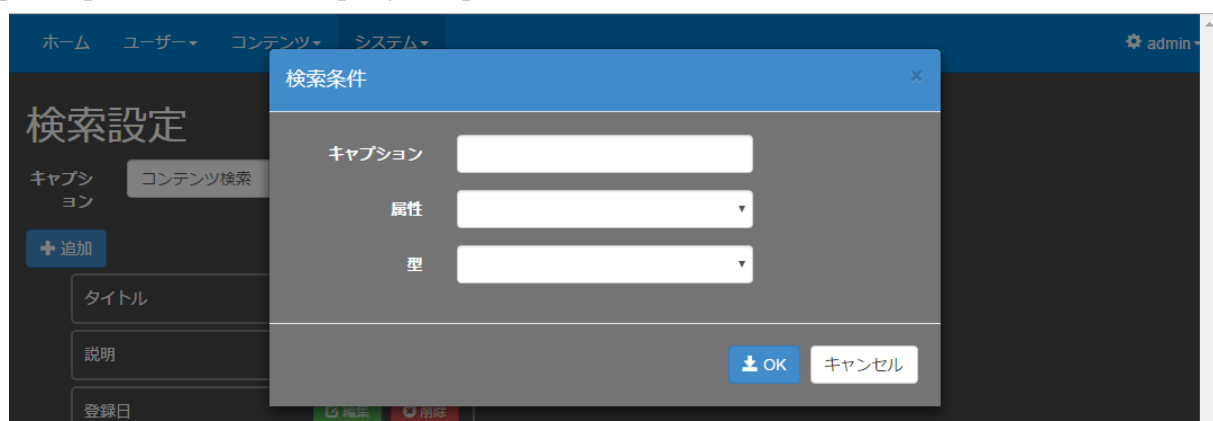
「キャプション」：検索設定に名前をつけることができます。

このキャプションが「ホーム」ページまたは「コンテンツ管理」ページのメニューバーの検索欄の右にある「▼」ボタンを押したときにドロップダウンメニューに表示されます。

上図の例では「コンテンツ検索」とキャプションを設定しています。

IV-7-6-1. 検索項目の追加

「+追加」ボタンを押すと、「検索条件」ウィンドウが表示されます。



■ 「検索条件」ウィンドウ

キャプション：項目の表示名

- 属性 : 検索対象とする属性
コンテンツのタイトル、説明、登録日、及び追加定義したカスタム属性から選択します。
- 型 : 検索条件の型
[選択]、[文字列]、[期間(日付)]、[期間(時間)]、[期間(日付)選択] から選択します。

型と指定可能な属性の関係は以下の表の通りです。

■ 属性と指定可能な型（検索条件）

型	検索条件	指定可能な属性
選択	事前登録されている属性値に一致する	種類が事前登録（単数選択/複数選択）である属性
文字列	文字列の部分一致	コンテンツのタイトル、説明 文字列型属性
期間(日付)	指定された期間(日付)内	コンテンツの登録日 日時/期間型属性
期間(時間)	指定された期間(日付及び時間)内	コンテンツの登録日 日時/期間型属性
期間(日付)選択	指定なし/一週間以内/一か月以内/一年以内から選択	コンテンツの登録日 日時/期間型属性

IV-7-6-2. 検索項目の編集と削除

登録済のコンテンツの検索条件の [編集] / [削除] ボタンをおして、検索条件の編集/削除が実行できます。

また、検索条件をマウスでドラッグ〜ドロップすることで、表示順序を変更できます。
変更が終了したら、[保存] ボタンを押して設定した検索条件を保存してください。

IV-8. LTO へのアーカイブ

「コンテンツ管理」 - 「アーカイブ」を選択してアーカイブページに移動し、「+ 追加」ボタンを押します。

※アーカイブオプションが有効の場合に表示されます。



■ IV-8-1. 期間から書き出すコンテンツを抽出する

LTO にアーカイブするコンテンツを期間指定で検索します。



■ 「新規アーカイブ」 ウィンドウ

指定した期間に登録されたコンテンツ一覧が表示されるので、アーカイブしたいコンテンツに[✓]を入れます。コンテンツを選択後[アーカイブの開始]ボタンを押してアーカイブを実行します。



■ [新規アーカイブ] ウィンドウ (コンテンツ選択後)

[カテゴリを移動させる] をチェックし、移動先のカテゴリを選択することでアーカイブしたコンテンツを指定されたカテゴリに移動させることもできます。

■ IV-8-2. LTO テープへコンテンツを書き出す

アーカイブの実行経過が表示されます。[キャンセル] ボタンを押すと、アーカイブが中断されます。

ホーム ユーザー コンテンツ システム admin							
アーカイブ							
+ 追加							
アーカイブ期間	総ファイル数	アーカイブ済みファイル数	総データ数	アーカイブ済みデータ数	開始時刻	完了時刻	
2017/01/01 から 2017/01/19 まで	3	0	8.759 MB	0 bytes	2017/01/19 19:04:10		キャンセル

アーカイブが完了すると右端に緑の [完了] ボタンが表示されます。結果を確認し [完了] ボタンを押すとアーカイブ表示が消去されます。

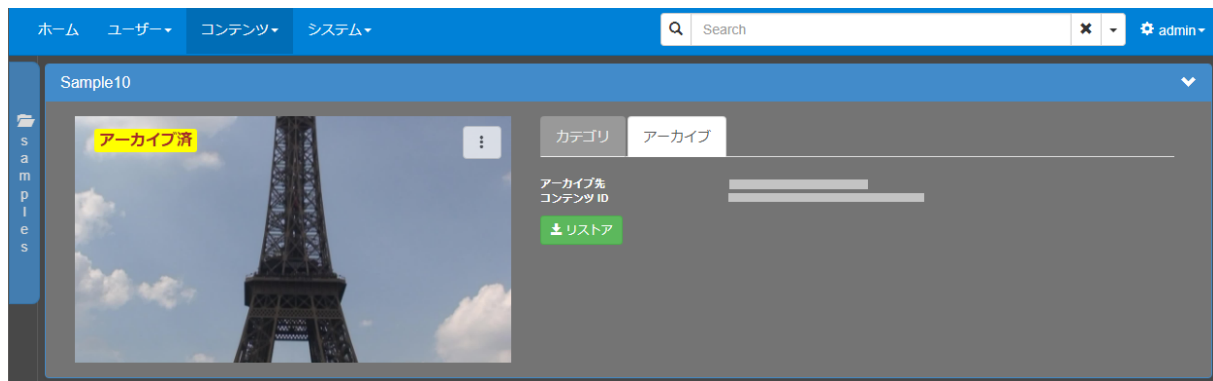
アーカイブされたコンテンツの動画ファイルはサーバー上から削除されますが、保管先の情報（テープ ID やファイル名等）はデータベースに残り管理されます。

アーカイブすることにより、サーバーのディスク空き容量を増加させることができます。

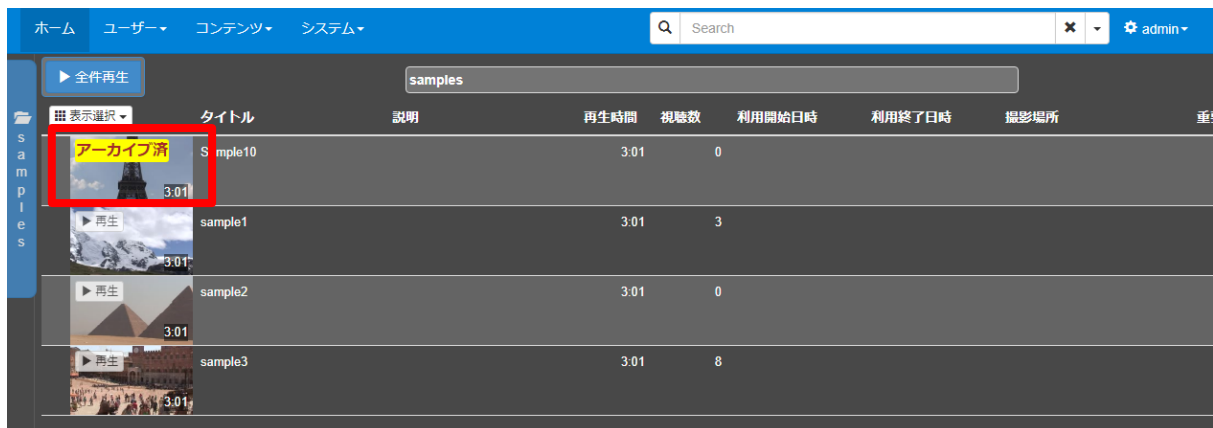
ホーム ユーザー コンテンツ システム admin							
アーカイブ							
+ 追加							
アーカイブ期間	総ファイル数	アーカイブ済みファイル数	総データ数	アーカイブ済みデータ数	開始時刻	完了時刻	
2017/01/01 から 2017/01/19 まで	3	3	8.759 MB	8.759 MB	2017/01/19 19:05:05	2017/01/19 19:05:08	完了

※構成によっては、アーカイブ後に一定期間動画ファイルがサーバー上に残るようになっている場合があります。

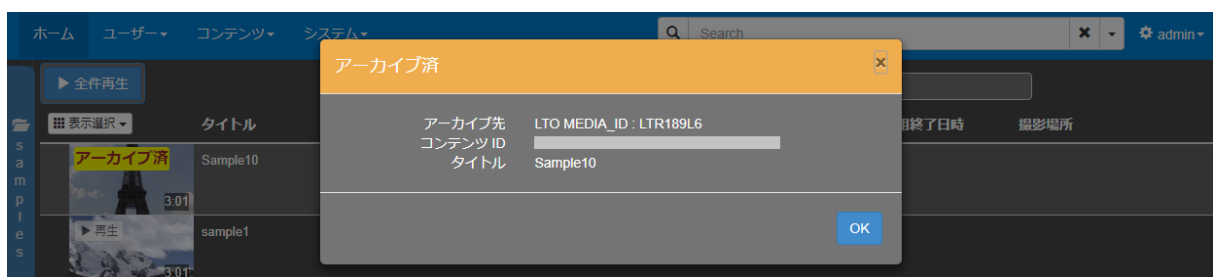
【コンテンツ管理】ページでは、アーカイブ済みのコンテンツは、コンテンツの詳細のサムネイル表示領域に【アーカイブ済】と黄色表示され、【アーカイブ】タブが表示されます。



【ホーム】ページでは、サムネイル表示領域に【アーカイブ済】と表示されます。

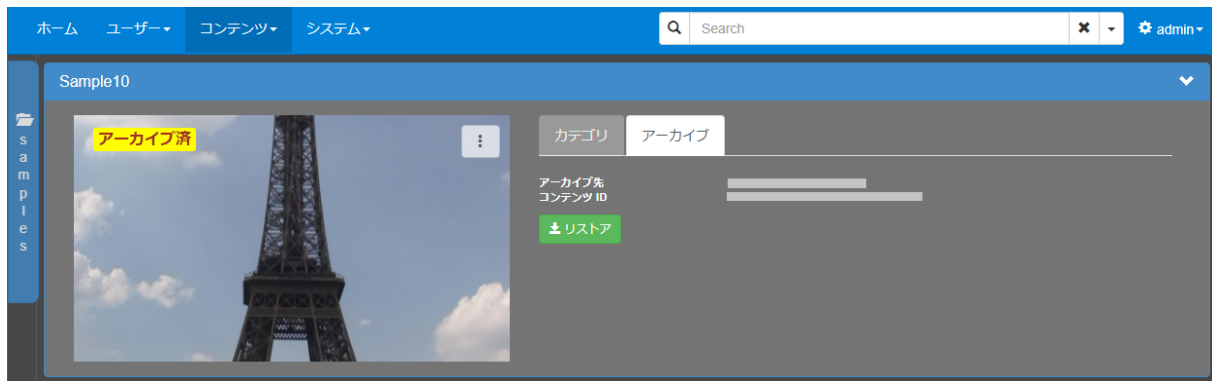


アーカイブ済みコンテンツをクリックすると下のようなウィンドウが表示され、再生は行われません。

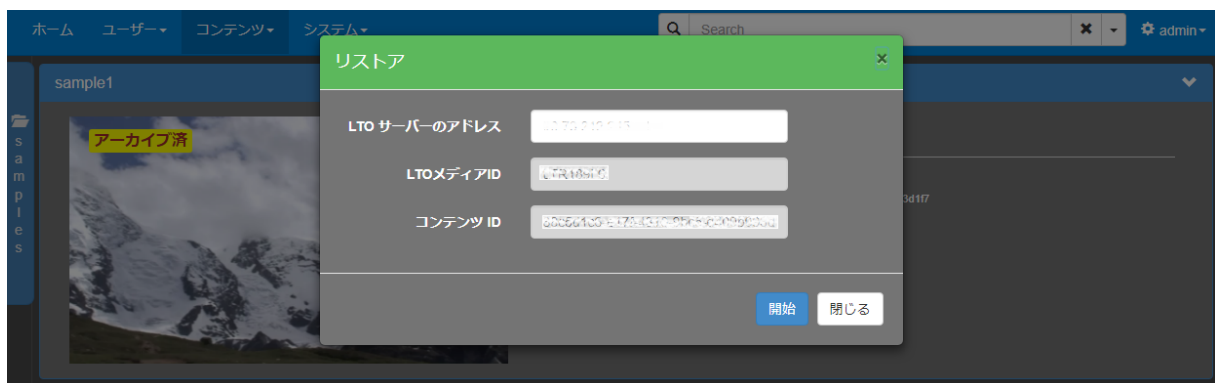


■ IV-8-3. LTO テープからコンテンツを読み出す

【コンテンツ管理】 ページで、VOD コンテンツのファイルがアーカイブされサーバー上に存在していない場合、コンテンツ詳細の【アーカイブ】 タブに【リストア】 ボタンが表示され、LTO テープからのリストア（コンテンツ・ファイルの読み出し）が可能になります。

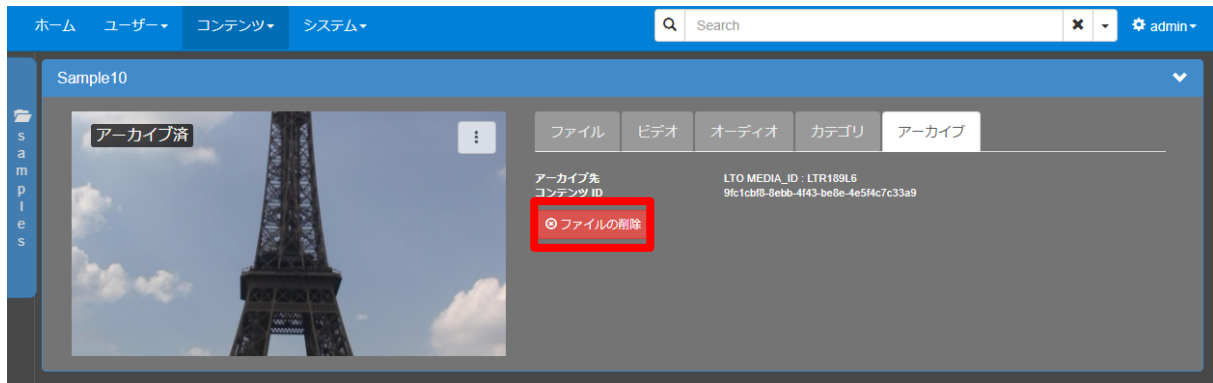


【リストア】 ボタンを押して表示されるウィンドウで【開始】 ボタンを押すと、LTO テープからコンテンツ・ファイルが読み出され、再登録されます。以後、コンテンツの再生、ダウンロードが再度可能となります。



■ 【リストア】 ウィンドウ

リストア実行後、アーカイブタブには「リストア」ボタンの代わりに「ファイルの削除」ボタンが表示されます。このボタンを押すとサーバー上から動画ファイルが削除され再生ができなくなり、「リストア」ボタンからリストア可能な状態に戻ります。



リストア操作によりファイルがサーバー上に存在している時は「ホーム」ページでは白背景に黒文字で「アーカイブ済み」と表示され、再生可能な状態に戻ります。



V. Appendix

V-1. MEDIAEDGE サーバーの仕様

OS		Windows Server 2012 R2 Standard for Embedded Systems (x64/5CAL) 日本語版	
CPU		Intel® Xeon® プロセッサー E3-1230v6(3.5GHz)	
チップセット		Intel® C236 チップセット	
メモリ		16GB (PC4-2400 Unbuffered ECC 4GBx4)	
ストレージ		1TB (SATA 2.5"7200rpm) ×6 台 RAID5+ホットスベア 1 で運用 システム容量 : 100GB、データ容量 3.5TB ホットスワップ対応	
光学ドライブ		SATA DVD-ROM	
ネットワークコントローラ		合計 5 ポート ・ストリーム配信/受信用 2 ポート 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応、RJ-45、 背面拡張スロット×2 ・リモート管理、制御用 : 2 ポート : オンボード (工場出荷時無効) 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応、RJ-45、背面×2 ・マネージメントボード専用 : 1 ポート(OS からの使用不可) 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応、RJ-45、背面×1	
インタフェース	ディスプレイ	アナログ RGB×1 (ミニ D-Sub15 ピン、背面×1)	
	シリアル	シリアルポート×1 (RS-232C 規格準拠/D-Sub9 ピン、シリアルポート A、 背面×1)	
	USB	USB3.0×6 (前面×2、背面 x4)	
消費電力 100V	消費電力 (AC) : 待機時 108W 高負荷時 217W 皮相電力(AC): 待機時 110VA 高負荷時 222VA 発熱量 : 待機時 388kJ/h 高負荷時 782kJ/h		
消費電力 200V	消費電力 (AC) : 待機時 109W 高負荷時 212W 皮相電力(AC): 待機時 111VA 高負荷時 216VA 発熱量 : 待機時 391kJ/h 高負荷時 763kJ/h		
最大消費電力	347VA /345W (100V 最大構成時)		
騒音レベル (待機時/高負荷時)	40dBA /49dBA(25℃) 、47dBA /57dBA(35℃) 測定方式 : ISO7779 基準		
環境温度/湿度	温度	動作時	5℃～40℃
		保管時	-10℃～55℃
	湿度	動作時	10～85% (結露しないこと)
		保管時	10～85% (結露しないこと)
外形サイズ (W×D×H mm)	1U ラックマウント型 444.0 (W) ×615.2 (D) ×43.6 (H) mm (フロントベゼル/スライドレール/突起物含まず)		

操作説明書

	482.4 (W) ×678.2 (D) ×44.1 (H) mm (フロントベゼル/スライドレール/突起物含む)
実装ラック要件	<ul style="list-style-type: none">・前後にマウントアングル必要。前後のマウントアングルは 19 インチ EIA 角穴。・角穴取り付け部品を取り外すことで丸穴のマウントアングルにも対応・ラック前後マウントアングル間 600mm-820mm 必要
質量	約 13.7kg (レール含む)
主な製品構成品	<ul style="list-style-type: none">・サーバー本体・電源ケーブル×2 (二極並行アース付きコンセント)・USB キーボード×1 ・USB マウス×1・フロントベゼル・ラックマウントレール(本体に装着済み)・丸穴ラック前面固定用フランジ(レールと排他使用。サポートアングル必須)・リストア用起動 CD(使用には一度 WindowsServerBackup を作成していることが必要)・取扱説明書

システム構成により、記載の基本仕様が変更される場合があります。

V-2. 動作確認済みネットワークカメラ

■動作確認済みネットワークカメラ

メーカー名	ネットワークカメラの型番
Panasonic	WV-SF135、WV-SF138、AW-HE55
SONY	SNC-XM631、SNC-VB600、SNC-VB630
AXIS	Q7401、M7016、M7001

2015 年 11 月現在